

武蔵野美術大学 通信教育課程

〒187-8505 東京都小平市小川町1-736

tel. 042-342-3405

e-mail: cc-nyugaku@musabi.ac.jp

<https://cc.musabi.ac.jp/>

2025年度
造形学部
通信教育課程
学生募集要項
科目等履修生募集要項

2025年度
造形学部 通信教育課程

学生募集要項 科目等履修生募集要項

武蔵野美術大学

通信

武蔵野美術大学通信教育課程

Musashino
Art University
Correspondence Course

MU

学生募集要項

Ⅰ 出願手続

入学から卒業まで ——— 3

1 入学概要

入学選考 ——— 5
出願期間 ——— 5
募集学科・コース・募集年次・募集人員 ——— 5
学費 ——— 6
修業年限と在学年数 ——— 6
各年次の入学・編入学資格 ——— 7
日本語能力に関する注意事項 ——— 8
その他入学に関する注意事項 ——— 8
既修得単位の認定 ——— 9
学習上の配慮を希望する方へ ——— 10

2 学費

出願時に必要な費用 ——— 11
入学後に必要な費用 ——— 11
卒業までに必要な学費（概算） ——— 12

3 出願

Web 出願について ——— 14
年次別出願書類一覧 ——— 15
出願書類の諸注意 ——— 16
著作権等の取扱いについて ——— 20

1 履修

履修の流れ ——— 21
卒業 ——— 22

2 学習

授業形態 ——— 23
科目試験 ——— 24
Web 環境およびパソコンについて ——— 24
単位修得の流れ ——— 25

3 資格課程

教職課程 ——— 26
学芸員課程 ——— 31

4 学生生活

学事予定 ——— 34
学習支援体制 ——— 35
奨学金 ——— 36
教育ローン ——— 37
厚生施設 ——— 37

Ⅱ 履修と学習

科目等履修生募集要項

科目等履修生概要 ——— 39
一般（PSP） ——— 40
特修生 ——— 40
教職生 ——— 41
Web 出願について ——— 44
出願書類一覧 ——— 44
出願書類の諸注意 ——— 45
考査料・登録料・受講料 ——— 46

Q & A

1 Q&A

入学 ——— 49
学費 ——— 49
学籍 ——— 50
履修・スクーリング ——— 50
学生生活 ——— 50
卒業 ——— 50
資格関係 ——— 51
科目等履修生 ——— 52
学習全般 ——— 52

書式

書式一覧 ——— 54
個人情報の取扱いについて ——— 55

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

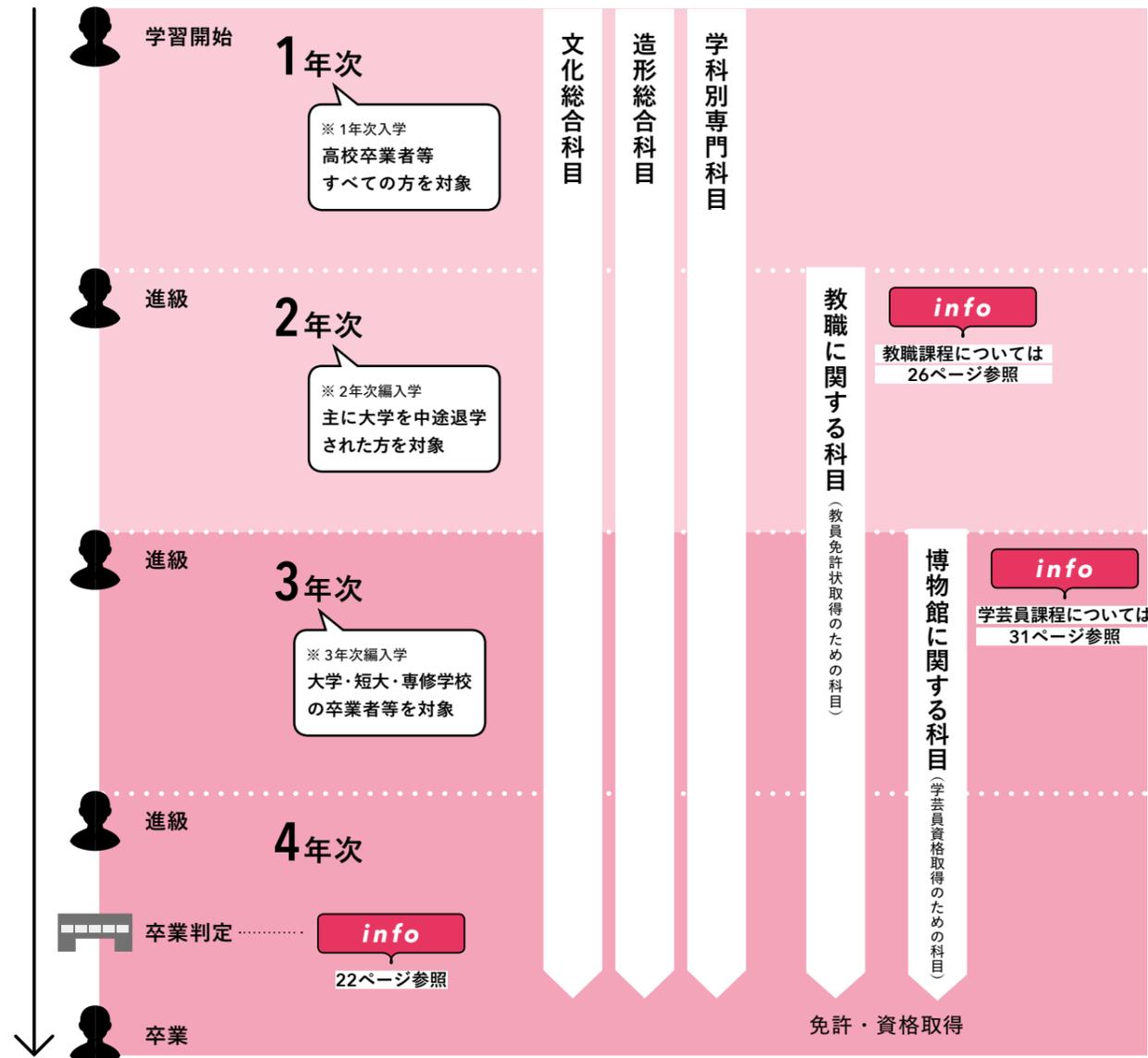
武蔵野美術大学は創立以来の教育理念に基づき造形芸術の専門教育を実践し、多くの優れた人材を輩出してきました。本学教育課程を主体的に修め努力で
きる次のような資質・能力を備えた学生を求めています。

- ・専門性と表現を深めるための基礎的な学力を身につけている人
- ・専門性を支える幅の広い造形力や教養を総合的に身につけようとする人
- ・論理的思考・創造的思考を働かせて独自の表現で伝えようとする人
- ・文化の創造発展に寄与し、社会で活躍しようとする人

また通信教育課程では上記のポリシーに加え次のような学生を求めています。

- ・地理的・時間的な制約に関わらず向学心をもって学ぼうとする人
- ・社会人の再学習や生涯学習を目的にさらに学ぼうとする人

入学から卒業まで



学生募集要項

- ① 出願手続 5ページ～
- ② 履修と学習 21ページ～



①-1 入学概要

■入学選考

出願書類による書類選考を行います。入学試験は行いません。出願書類に不備がある場合は選考の対象になりませんので、ご注意ください。

info

出願書類については15ページ参照

■出願期間

2025年1月15日（水）～4月15日（火）消印有効

出願期間内に「①Web出願」、「②出願時学費の振込」、「③出願書類の郵送」を完了させてください。4月15日（火）までに上記①②③が全て完了しない場合は、入学不可となる可能性があります。また、締切間近は通常よりも選考および初回教材の発送に時間を要しますので、学習を早めに開始されたい方はなるべく早期での出願を推奨します。以下の各出願期間はスクーリング申込期限を考慮した目安としての出願期間です。

第1期	2025年1月15日～3月10日	春期第1回スクーリングより受講申込が可能*
第2期	2025年3月11日～3月20日	春期第2回スクーリングより受講申込が可能*（但し、春期第1回申込期間内に履修登録が完了した場合は春期第1回スクーリング受講申込が可能）
第3期	2025年3月21日～4月10日	春期第2回スクーリングより受講申込が可能*
第4期	2025年4月11日～4月15日	夏期スクーリングより受講申込が可能*（但し、春期第2回申込期間内に履修登録が完了した場合は春期第2回スクーリング受講申込が可能）

※上記期間内に申し込んだ場合でも、書類に不備・不足があり提出や確認が遅れる場合は受講したいスクーリングの申込期間に間に合わない場合があります。

※スクーリングの受講申込は、履修登録完了後、受講申込期間内にできます。

※履修登録は3月15日から開始です。春季第1回スクーリングの受講申込期間は4月1日～4月9日です。

※各期スクーリングの受講申込期間は『面接授業（スクーリング）日程表・メディア授業 [リアルタイム] 日程表』を参照してください。

出願書類受理後、大学より送付する書類

1	入学許可書	出願手続に不備・不足がなかった場合、2週間をめどに郵送します。
2	初回教材	履修ガイドブックなど履修登録に必要な教材を、入学許可書をお送りした方へ2月下旬より順次送付します。
3	学生証	3月下旬より順次郵送します。

■募集学科・コース・募集年次・募集人員

造形学部	油絵学科	絵画表現コース 日本画表現コース	1年次入学 410 名	2年次編入学 70 名	3年次編入学 100 名
	芸術文化学科	芸術研究コース			
	デザイン情報学科	デザイン総合コース			

info

学科コースについては『入学案内』参照

■学費

学費（下表の「出願時合計」）は、必ず出願書類を郵送する前に以下の「学費の振込先」までお振込みください。全納、分納いずれかの金額を振込し、出願用封筒裏面の金額欄にチェックしてください。

入学手続に必要な費用

区分	選考料	入学金	授業料	出願時合計
全納	25,000円	30,000円	330,000円	385,000円
分納	25,000円	30,000円	165,000円	220,000円

※授業料には、科目試験受験料、通信授業の教科書代（参考図書などは含まれません）、学校教育研究災害傷害保険料などを含みます。

※スクーリング受講料、メディア授業受講料は入学後に別途かかります。

※入学後の授業料は、預金口座振替（指定の預金口座からの自動引き落とし）となります。

info

入学後の学費については11ページ参照

入学金免除対象者

本学および武蔵野美術学園に在籍歴がある方は、上記入学金30,000円を免除します。

該当する方は、Web出願の「本学の在籍歴」項目にチェックしてください。

学費は、30,000円を差し引いた金額（全納355,000円、分納190,000円）をお振込みください。

・武蔵野美術大学（通信教育課程、通学別科含む）
・武蔵野美術大学短期大学部（通信教育部含む）

・武蔵野美術学校
・武蔵野美術学園（本科生のみ）

※本学科目等履修生としての登録歴は免除対象とはなりません。

学費の振込先

金融機関名	支店名	預金種目	口座番号	口座名義
みずほ銀行	荻窪支店	普通	2352346	ガク) ムサシノビジュツダイガクツウシン キョウイクシンニュウセイグチ 学校法人武蔵野美術大学通信教育新入生口

※必ず、志願者ご本人のお名前でお振込みください。

■修業年限と在学年数

入学年次	修業年限（卒業最少年数）	在学年数（在学できる年数）
1年次入学	4年	10年
2年次編入学	3年	8年
3年次編入学	2年	6年

※休学期間は在学年数に含まれません。休学可能期間は3年までです。

■各年次の入学・編入学資格

1年次入学資格（2025年4月1日までに満18歳に達する方で、次のいずれかに該当する方、または2025年3月31日までに該当する見込みの方）

- ・高等学校または中等教育学校を卒業した方
- ・特別支援学校の高等部または高等専門学校3年次を修了した方
- ・外国において、正規の学校教育制度に基づく12年の課程を修了した方、またはこれに準ずる方で、文部科学大臣の指定した方
- ・文部科学大臣の指定した方
- ・文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものと認定した在外教育施設の当該課程を修了した方
- ・専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たす方に限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方
- ・高等学校卒業程度認定試験規則により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）に合格した方
- ・本学において相当の年齢に達し、高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められた方

2年次編入学、3年次編入学資格

（次のいずれかに該当する方、または2025年3月31日までに該当する見込みの方）

日本または外国の学士の学位を有する方
日本または外国の短期大学を卒業した方
日本の高等専門学校を卒業した方

2年次編入学：日本の大学（短期大学を除く）において1年以上在学し、その間に30単位以上を修得した方
3年次編入学：日本の大学（短期大学を除く）において2年以上在学し、その間に62単位以上を修得した方

2年次編入学：外国において正規学校教育制度に基づく13年以上の課程を修了した方
3年次編入学：外国において正規学校教育制度に基づく14年以上の課程を修了した方

学校教育法施行規則附則第7条の規定により、大学の2年次または3年次に編入学することができる方

日本の専修学校の専門課程（修業年限が2年以上、総授業時数が1,700時間以上または62単位以上であるものに限る）を修了した方で学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する方

日本の高等学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した方で学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する方

※各省庁設置の大学の卒業者は本学への編入学はできません。ただし、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された方は、編入学資格に該当します。

point

編入学の正式な可否については、出願書類として、大学等の入学資格となる学歴の卒業証明書・成績証明書等を提出いただいたうえで判断しますので、あらかじめご了承ください。

■日本語能力に関する注意事項

日本語能力について

- ・学習を進めるにあたり、日本語能力試験（JLPT）N2レベル以上の日本語能力を前提としています。
- ・授業や各種教材について対応する言語は日本語のみとなります。
- ・日本語の修得に関する補習教育などは行っておりません。
- ・事務手続きにおいても多言語対応は行っておりません。

■その他入学に関する注意事項

二重学籍

学校教育法第1条に定める学校（大学、短期大学、大学院、高等専門学校、高等学校の専攻科など）または海外の学位を取得できる学校等に在学中の方は二重学籍となり、本課程へ入学、編入学はできません。なお、上記学校に在籍中の方は、2025年3月31日以前の日付で退学していることを出願の条件とします。

外国の大学を編入学資格とする場合

編入学をするためには、以下の学位を取得していることが条件です。中途退学をした場合は1年次入学となります。

- ・学士の学位（Bachelor Degree）
- ・短期大学士の学位（Associate Degree）

info

出願書類については18ページ参照

外国に在住の方

- ・教材の発送や課題の返却など、大学からの全ての送付物は外国へ直送できません。
- ・日本国内の確実な連絡先を本人住所として出願時に入力してください。
- ・課題の提出時間や各種申請手続き等の締切日時は日本時間を基準とします。
- ・保証人は国内在住者に限ります。
- ・本学に在籍による留学ビザなどの在留資格の取得はできません。

外国籍の方

・日本語能力試験（JLPT）N2以上の成績証明書原本をご提出ください。

※ただし、日本語での教育を行う日本国内の高等学校、短期大学、大学、大学院、専門学校などを卒業（見込み）の方は提出不要です。卒業した学校の卒業証明書を出願書類に合わせてご提出ください。
※再入学される方においても同じ入学条件となります。

入学辞退

出願後、やむを得ない理由により入学を辞退する場合は、出願期間内に書面にて申し出てください。
ただし、出願期間内にかかわらず履修登録後は、入学辞退はお受けできません。

期限：2025年4月15日（火）（消印有効）

1. 入学担当（042-342-3405）まで電話連絡する。
2. 入学辞退願（A4判用紙、任意）に以下の①②③を記入する。
 - ① 宛名：武蔵野美術大学長
 - ② 表題：入学辞退願
 - ③ 記入年月日、氏名（自署）、住所、電話番号、入学辞退の理由
3. 入学辞退願と返信用封筒（郵便番号、住所、氏名を記入、110円切手貼付）を大学へ送付する。
4. 初回教材など大学より送付している書類すべてを大学へ返送する（送料は自己負担）。
（入学辞退願、初回教材などの受理を確認後、大学より学費返還願の用紙を送付する。）
5. 学費返還願に必要な事項を記入し、大学へ送付する。
（学費返還願を受理後、授業料（選考料および入学金を除く）のみ返還する。学費返還願受理後から2ヶ月ほどかかります。）

再入学

本課程を中途退学し、再入学をご希望される方は、事前にメールまたは電話でご相談ください。

■既修得単位の認定

本課程への入学以前に大学・短期大学等において修得している単位がある場合、提出書類の成績証明書をもとに、単位の一括認定をします。なお、既修得単位の認定は、入学時以外は行いません。また、入学後に他大学の科目等履修生などとして修得した単位の認定も行いません。

入学 年次	最終学歴等	認定する単位		合計	
		文化総合科目として	造形総合科目として		
1 年次 入学	日本の大学または 短期大学で 単位を修得した方	中途退学者等	20 単位まで	10 単位まで	30 単位まで
		卒業した方	20 単位	10 単位	30 単位
	日本の大学等の科目等履修生として単位を 修得した方（18歳未満で修得した場合は除く）	20 単位まで	10 単位まで	30 単位まで	
	本課程の科目等履修生（特修生）として 16 単位以上を修得した方	30 単位まで（科目認定）			
2 年次 編入 学	美術・デザイン系の 大学・短期大学で単位を修得した方	20 単位	10-26 単位	46 単位まで	
	美術・デザイン系以外の 大学・短期大学で単位を修得した方	20-36 単位	10 単位		
	2年次編入学資格を満たす方 （専修学校の専門課程を卒業した方、高等専門学校を卒業した方、高等学校の専攻科の課程を修了した方、外国の大学・短期大学を卒業した方等）	20 単位	10 単位	30 単位	
3 年次 編入 学	大学・短期大学で単位を修得した方	42 単位	20 単位	62 単位	
	3年次編入学資格を満たす方 （専修学校の専門課程を卒業した方、高等専門学校を卒業した方、高等学校の専攻科の課程を修了した方、外国の大学・短期大学を卒業した方等）	42 単位	20 単位	62 単位	

※科目ごとの単位認定は行わないため、すでに修得した科目と同一名称の授業科目を本課程で再度履修することができます。ただし、本課程の科目等履修生（一般・特修生）は除きます。

※通学課程の大学等で修得した単位は、すべて面接授業（スクーリング）による単位として認定しますが、通信教育課程の大学等で修得した単位は、通信授業は通信授業として、面接授業は面接授業として認定します。

■学習上の配慮を希望される方へ

学習上の配慮を希望される場合

心身の疾患や障害等により、学習上の配慮を希望される方は、出願前に必ずご相談ください。必要に応じて本学より入学後の学習内容や配慮事例についてご説明し、その内容についてご理解いただいたうえで、出願をお考えいただけます。

入学相談から面談まで

事前相談

心身に疾患や障害等があり、配慮の内容によって入学を検討されたい方や、入学後、学習を進めていくうえで不安がある方は、下記期間中に本学へご相談ください。なお、事前相談は入学後の配慮について確認・説明するものであり、本課程入学に係る選考とは一切関係ありません。

※相談期間：2024年12月13日（金）～2025年2月13日（木）

「身体等の状況連絡票」の提出

Web出願の「学習上の配慮」項目において心身の状況について不安がある、または配慮を希望するとした方は、「身体等の状況連絡票」に必要事項を記入のうえ、出願書類に同封してください（ケガ等で一時的に配慮が必要な場合も含まれます）。なお、具体的な配慮等は必要ない場合でも、「身体等の状況連絡票」の記載内容に該当する場合は提出してください。また、入学後も心身状況に変化があった場合は、必ず本学に連絡してください。

※三鷹ルーム、市ヶ谷キャンパスは本学所有の駐車場がありませんので、近隣の有料駐車場等を使用してください。また、科目試験の地方会場では車椅子対応ができない場合があります。

上記のほか、本学では合理的配慮を行いますが、障害の種類や状態により、本学への入学や個別の授業科目の受講が不可能な場合もあります。また、授業内容や評価の水準は障害の有無にかかわらず、同一となります。

本学の現状において対応が困難なもの

- 点字化、文字の拡大、録音またはデータ化された特別な教材の提供
- 科目試験日時等の変更、延長
- 科目試験会場への試験時間中の介助者の入室
- スクーリング、科目試験等の学事での介助者（手話通訳者、ノートテイク、移動補助者等）の確保
- 点字、代筆等でのレポート、科目試験の答案等の提出
- スクーリング、科目試験等での特別な机等の使用および持込み

※このほか、配慮の希望に対し、状況によっては対応ができないことがあります。

面談、関係資料のご提出

事前相談や「身体等の状況連絡票」が提出された後に、必要に応じて面談を実施することがあります。面談では、入学後の履修方法やスクーリング（面接授業）を受講するうえで特に必要と思われる項目・注意点等の説明を行います。それらの内容について、ご理解ご了承のうえで出願をしていただきます。また、事前相談や「身体等の状況連絡票」の内容に応じて、障害者手帳の写しや医師の診断書等をご提出いただく場合がございます。

現在行っている配慮事例

- 申請された配慮情報のスクーリング担当教員・保健室への共有
- 試験会場における視覚補助器具、聴覚補助器具、治療・健康維持器具の使用の許可、座席指定
- 階段を登ることが難しいと判断された場合、エレベーターの無い建物でのスクーリング時における低層階教室への配当
- 車椅子使用者や公共交通機関での通学が不可能と判断された場合のスクーリング時、科目試験時における自家用車の駐車許可

配慮などのご相談は、下記までお問合せください。

通信教育課程 配慮担当

TEL：042-342-3401 E-mail：cc-soudan@musabi.ac.jp

①-2 学費

■出願時に必要な費用

入学手続に必要な費用

区分	選考料	入学金	授業料	出願時合計
全納	25,000円	30,000円	330,000円	385,000円
分納	25,000円	30,000円	165,000円*	220,000円

*分納の場合、後期授業料は預金口座振替となります（9月中旬）。

*出願書類を郵送する前にお振込みください。

info 学費のお振込みについては6ページ参照

■入学後に必要な費用

入学後には下表のとおり、スクーリング受講料や資格課程の登録費用等が必要です。次ページの「卒業までに必要な学費（概算）」とあわせて確認してください。

費用項目	金額	備考
授業料	1年間につき 330,000円	2年目以降毎年必要 履修した科目の教科書・学習指導書代を含む
スクーリング 受講料	1単位につき 9,000円	講義科目 【文化総合科目】 レポート入門Ⅱ 【教職に関する科目】 教育方法（ICT活用を含む）・美術教育法Ⅱ 美術教育法Ⅳ・工芸教育法Ⅱ・教育実践の理論と方法
	15,000円	講義科目以外の授業科目
メディア授業 受講料	1単位につき 12,000円	インターネットを利用し、 オンデマンドまたはリアルタイムで開講します。
科目試験	全国10カ所で開催 不要	年に6回実施
教職課程	教育職員免許法第5条 [別表第1]での履修	希望者・登録初年度のみで、 2年次以上の学生を対象とします。
	教育職員免許法第6条 [別表第3・4・8]での履修	
学芸員課程	油絵学科 デザイン情報学科 の学生 70,000円	希望者・登録初年度のみで、 3年次以上の学生を対象とします。なお、 芸術文化学科の学生は納入の必要はありません。

※このほか、レポートや実技課題作品を提出する際の郵送料（第4種郵便の優遇制度あり）、機材・材料費、および諸手続に要する通信費等がかかります。また、遠方から科目試験やスクーリングに参加する場合は、旅費交通費・宿泊費等が必要になります。

■卒業までに必要な学費（概算）

卒業までには授業料のほか、スクーリングやメディア授業の受講料等が必要です。スクーリングまたはメディア授業は卒業までに30単位の修得が必要になるため、年間平均で7～8単位のスクーリングまたはメディア授業を受講することになります。最短で卒業した場合、学費の概算は下表のとおりです。

info 各コースの学費例は、Webサイトの学科・コースの紹介に掲載

例えば デザイン情報学科

1年次入学の場合

年次	選考料・入学金	授業料	スクーリング受講料 メディア授業受講料	合計
1年次	25,000円 + 30,000円	330,000円	15,000円 × 6単位 12,000円 × 2単位	= 499,000円
2年次		330,000円	15,000円 × 8単位	= 450,000円
3年次		330,000円	15,000円 × 3単位 12,000円 × 3単位	= 411,000円
4年次		330,000円	15,000円 × 8単位	= 450,000円
				1,810,000円

2年次編入学の場合

年次	選考料・入学金	授業料	スクーリング受講料 メディア授業受講料	合計
2年次	25,000円 + 30,000円	330,000円	15,000円 × 4単位 12,000円 × 2単位	= 469,000円
3年次		330,000円	15,000円 × 3単位 12,000円 × 3単位	= 411,000円
4年次		330,000円	15,000円 × 8単位	= 450,000円
				1,330,000円

3年次編入学の場合

年次	選考料・入学金	授業料	スクーリング受講料 メディア授業受講料	合計
3年次	25,000円 + 30,000円	330,000円	15,000円 × 8単位 12,000円 × 3単位	= 541,000円
4年次		330,000円	15,000円 × 4単位 12,000円 × 2単位	= 414,000円
				955,000円

※2年次編入学、3年次編入学の例は、入学時に既修得単位をスクーリングによる単位として認定された場合です。

※受講する科目によっては別途教材費がかかるものもあります。

※不合格によりスクーリング再受講となった場合、新たに同一の受講料・申込みが必要です。

※参考図書等の購入代金・材料費・課題の郵送料等は含まれません。

①-3 出願

■ 出願手続から学習開始までの流れ



※1 出願に必要な「出願用封筒」と「預金口座振替依頼書」が学生募集要項に同封されています。

※2 本誌に同封しています。

※3 レポート・実技課題作品の提出ができるのは4月1日以降です。

■ Web 出願について

出願方法はWeb出願のみとなります。Web出願登録後、「出願時学費のお振込み」と「出願書類の郵送」を行ってください。本課程Webサイトの「Web出願」ページより手続をしてください。

必要なインターネット環境

端末	OS	推奨ブラウザ
パソコン	Windows	Microsoft Edge（最新） GoogleChrome（最新） Firefox（最新）
	MacOS	Safari（最新）
スマートフォン、タブレット	Android 12.0以上	Android Chrome
	iOS 15.0以上	Safari（最新）

info 詳しくはWeb出願ページの「はじめに」参照

事前準備

プリンター

- ・ 出願に必要な書類の印刷に必要です。
- ・ 自宅にプリンターがない場合は、コンビニエンスストアなどをご利用ください。

メールアドレス

- ・ Web出願登録時に入力が必要です。
- ・ Web出願登録後の自動配信メールや、本学からの連絡をメールで行う場合がありますので連絡がつきやすいメールアドレスを入力してください。
- ・ フリーメール（GmailやYahoo!メール等）が推奨です。
- ・ 携帯メールの場合は、「@musabi.ac.jp」「@postanet.jp」を受信設定してください。

出願に必要な書類

- ・ 入学年次などにより必要な書類が異なります。本冊子の15ページでご確認の上、不備・不足がないようにしてください。

顔写真データ

- ・ Web出願登録時に必要です。学生証の写真データとして使用します。

▼顔写真の条件

- ・ 上半身、正面向き、脱帽、背景なし
- ・ 3か月以内撮影
- ・ ファイル形式は「JPEG」（ファイル拡張子は「jpg」）
- ・ サイズ3MB以下

■年次別出願書類一覧

Web出願登録前に以下の表を見て書類を揃えておいてください。Web出願登録と学費振込後、速やかに書類を出願用封筒※3に入れて簡易書留で郵送提出してください（送料は大学負担）。学費は必ず出願書類を郵送する前にお振込みください。

●印は、必須書類です。△印は、該当者のみが提出する書類です。－印は、不要な書類です。

必要書類名		1年次 入学	2年次 編入学	3年次 編入学
本学所定の書類	誓約書（保証書）・個人情報の取り扱いに関する同意書※1	●	●	●
	出願用封筒※2	●	●	●
	編入学基礎資格証明書※1	－	△	△
	身体等の状況連絡票※1	△	△	△
入学資格を証明する書類	高等学校の卒業（見込）証明書または 高等学校卒業程度認定試験（旧大検）合格（見込）証明書※3	●	－	－
	入学資格となる学歴の卒業（見込）証明書または 在籍期間証明書※3	△	●	●
	入学資格となる学歴の成績証明書	△	●	●
	日本語能力試験（JLPT）N2以上の成績証明書※4	△	△	△
その他の書類	預金口座振替依頼書・自動払込利用申込書（学生募集要項同封）の 「①金融機関提出用」「②貴社（委任者）控」※2	●	●	●
	住民票の写しまたは住民票記載事項証明書	●	●	●
	戸籍抄本（各証明書の氏名と現在の氏名が異なる場合）	△	△	△
	教育ローン（ジャックス）利用届※5	△	△	△

※1 Webサイトの「Web出願」ページから両面印刷するか、54ページ以降の書式を両面コピーしてください。

※2 本誌に同封しています。

※3 詳細は16ページをご確認ください。

※4 外国籍の方は提出が必要です。詳細は8ページをご確認ください。

※5 教育ローンを利用する方は37ページをご確認ください。

■出願書類の諸注意

出願書類に不備がある場合は、メールまたは電話にてご連絡します。出願時には必ず連絡の取れる連絡先をご登録ください。不備がある場合は学習開始が通常よりも遅れますので、提出前に入念にチェックしてください。なお、提出された書類は一切返却しません。

本学所定の書類

誓約書（保証書）・個人情報の取扱いに関する同意書

- ・Webサイトの「Web出願」ページから両面印刷するか、54ページ以降の書式を両面コピーしてください。
- ・志願者ご本人と保証人両名の署名・捺印をお願いします。
- ・保証人は国内在住で、成人の方であればどなたでも問題ありません。

出願用封筒

- ・本誌に同封されています。
- ・出願書類をすべて封入して、郵便局より簡易書留で郵送してください。
- ・郵送料は大学負担のため、切手は不要です。

編入学基礎資格証明書

- ・専修学校の専門課程（専門学校）または高等学校の専攻科を編入学資格とする方は必ずご提出ください。
- ・Webサイトの「Web出願」ページから両面印刷するか、54ページ以降の書式を両面コピーしてください。
- ・学校の担当者が全ての項目を記入してください。志願者は記入しないでください。

info

専門学校卒業者の本課程への編入学資格については7ページ参照

身体等の状況連絡票

- ・入学後に学習上の配慮を希望される方は、10ページをお読みいただき、事前相談のうえでご出願ください。
- ・Webサイトの「Web出願」ページから両面印刷するか、54ページ以降の書式を両面コピーしてください。

入学資格を証明する書類

高等学校の卒業（見込）証明書

または高等学校卒業程度認定試験合格（見込）証明書

- ・1年次入学の方は必ずご提出ください。
- ・出願時に在学中の方は卒業見込証明書をご提出ください（卒業後速やかに卒業証明書を提出すること）

●中国本土の正規課程による高等学校を入学資格とする方は、卒業証明書の原本に代わって以下の2点の書類を提出してください。

- 1) 卒業証書（Diploma / 毕业证书）のコピー（中国語表記で可）
- 2) CSSD（Center for Student Services and Development, Ministry of Education, P.R. China）が発行する英語による「Verification Report of China Secondary Education Qualification Certificate」を申請し、印刷したもの

※卒業時期の都合や、教育課程が中国以外の制度あるいは国際部である等の理由により出願時にVerification Reportを提出できない場合は、高等学校が発行する卒業証明書を提出してください。Verification Reportの申請についてはCHSIのウェブサイトを確認してください。

※発行に時間がかかる場合もあるため、十分な時間的余裕を持って申請してください。

point

各種証明書類は発行から6ヶ月以内のもの（原本）を提出してください。厳封は不要です。

info

学費については6ページ参照

入学資格となる学歴の卒業（見込）証明書または在籍期間証明書

- ・編入学を希望する方は必ずご提出ください。
- ・入学資格とする学歴以外のものや、大学院の証明書などは不要です。
- ・独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された方は、「学位授与証明書」をご提出ください。
- ・廃校になっている場合は、卒業した学校所在地の教育委員会などに問い合わせてください。
- ・本学通学課程ご出身の方は、通学課程教務チームへ証明書をとり寄せてください。
- ・本学通信教育課程ご出身の方は、ご提出不要です。

●中国本土の教育機関を編入学資格とする方は、卒業証明書・学位取得証明書の原本に代わってCHSI（中国高等教育学生信息网）が発行する以下のいずれかの認証書を、CSSD（CHESICC）に発行申請し、出力したものを提出してください。

1) 既卒者：英文の「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」と「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」および卒業証書（Diploma/毕业证书）のコピー（中国語表記でも可）

2) 卒業見込者：英文の「Online Verification Report of Student Record」

※詳細は、CSSD（CHESICC）のWebサイト（<https://www.chsi.com.cn/en/>）を確認してください。
 ※発行に時間がかかる場合もあるので、十分な時間的余裕を持って申請してください。

入学資格となる学歴の成績証明書

- ・編入学を希望する方は必ずご提出ください。
- ・1年次入学の方で、大学等で修得した単位の認定を希望する場合も出願時にご提出ください。
- ・入学資格とする学歴以外のものや、大学院の証明書などは不要です。
- ・通信教育課程の大学を入学資格とする方は、面接授業の単位数が明記された成績証明書を提出してください。
- ・出願時点で編入学資格の単位数に満たない場合は、2025年3月31日までに必要単位数を修得する見込みであることがわかる書類を提出してください（例：履修証明書、履修単位数や修得見込単位数などが記載された画面のスクリーンショットを印刷したものなど）。
- ・本学通学課程ご出身の方は、通学課程教務チームへ証明書をお取り寄せください。
- ・本学通信教育課程ご出身の方は、ご提出不要です。

●中国本土の教育機関を卒業された方はCHSI（中国高等教育学生信息网）が発行する「成績証明書」でも構いません。

日本語能力試験（JLPT）N2以上の成績証明書

- ・外国籍の方は、8ページをよくお読みになり、日本語能力試験（JLPT）N2以上の成績証明書原本をご提出ください。
- ※ただし、日本語での教育を行う日本国内の高等学校、短期大学、大学、大学院、専門学校などを卒業（見込み）の方は提出不要です。
 卒業した学校の卒業証明書を出願書類に合わせてご提出ください。

外国の学校を入学資格とする方

- ・1年次入学の方は外国の高校の卒業証明書を提出してください。
- ・編入学を希望する方は、外国の大学（または短期大学）の卒業証明書と成績証明書をご提出ください。
- ・証明書が日本語または英語以外の場合、原本と大使館などの公的機関で証明された日本語訳または英語訳の原本の両方を提出してください。

原本が 日本語または英語の場合	原本が 日本語または英語以外の言語の場合	
原本を提出	大使館などの公的機関または日本語学校（現在日本国内の日本語学校に在籍中の場合のみ可能）で証明を行う場合	中華人民共和国公証役場で証明を行う場合
	原本と大使館などの公的機関または日本語学校で証明した日本語または英語訳の原本の両方を提出	公証役場が作成した「公证书」原本を提出
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 出身学校が発行した 日本語または英語 証明書原本 印 </div> <p style="text-align: center;">原本</p>	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 出身学校が発行した 日本語と英語以外の 証明書原本 印 </div> <div style="margin: 0 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 公的機関または 日本の日本語学校で 証明した 日本語または 英語訳原本 原本と相違なし 〇〇日本語学校 印 </div> </div> <p style="text-align: center;">原本 原本</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 公证书 証明書 中国語 中国語原本 のコピー 印 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 5px;"> 中国語 公証書 証明文 印 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 5px;"> 証明書 日本語 または 英語訳 印 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 5px;"> 公証書 証明文 日本語 または 英語訳 印 </div> </div> <p style="text-align: center;">原本</p>

その他の書類

預金口座振替依頼書・自動払込利用申込書（3枚複写）の 「①金融機関提出用」「②貴社（委託者）控」

入学後の授業料は、預金口座振替（半期分ごとに指定の預金口座からの引き落とし）となります。

※本誌巻末に挟み込んでいます。

預金口座振替依頼書・自動払込利用申込書

金融機関にお持ちいただく必要はありません。

利用申込書の表紙の記入例を参考に必要事項を記入、署名捺印（金融機関届印）してください。

ネット銀行利用の場合は、ご指定の金融機関より後日手続きにかかるメールが送信されますので、手続きをしてください。

収納代行会社は「みずほファクター株式会社」となります。

「①金融機関提出用」「②貴社（委託者）控」を提出してください。

「③お客様控え」は本学在籍中、お手元に大切に保管してください。

※1 書き損じた場合は、訂正箇所を二本線で消し、押印（金融機関届印）してください。

※2 契約者欄には、志願者ご本人の氏名、住所などを記入してください。

※3 顧客番号は不要です。記入しないでください。

※4 預金口座の名義が志願者と異なっていても構いません。

※5 捺印が欠けたり、擦れたりしないよう注意してください。

※6 ご利用いただける金融機関

みずほファクター トータルネットのサイトより「ご利用金融機関一覧」を確認してください。

https://www.mizuho-factor.co.jp/service/total_net/

住民票の写しまたは住民票記載事項証明書

志願者ご本人の氏名、住所、生年月日などが記載されているものを提出してください。

※「住民票の写し」はコピーのことではありません。

戸籍抄本

現在の氏名と大学などの各種証明書の氏名が異なる場合は、必ず提出してください。

教育ローン利用届

株式会社ジャックスの提供する教育ローンを利用する方は、教育ローンの利用が確定した後に届出してください。また出願書類に、住所、氏名、「ジャックスの教育ローンを利用する」と記入した用紙（A4判、様式自由）を同封してください。

ジャックス以外の教育ローンを利用する場合、届出は不要です。

旧姓・通称名使用願

旧姓・通称名の使用を希望する方は、Webサイトの「Web出願」ページより出力の上、提出してください。

※通称名の使用は、外国籍の方が住民票記載の通称名を使用する場合、性別違和あるいは性別不合のために通称名の使用を希望する場合に申請することができます。

■著作権等の取扱いについて

本課程で学ぶにあたっては、著作権法や民法などの法律に違反したり、他者の権利を侵害したりすることのないよう、注意する必要があります。以下の説明文を熟読のうえ、「誓約書（保証書）・個人情報の取り扱いに関する同意書」に署名・捺印をして提出してください。

対象となる作品

本学の教育の中で作成されるすべての作品。美術、写真、彫刻、映像、音楽、設計図案、デザイン図案、模型等の実技表現、レポートや論文等の言語による表現等、すべての表現を含みます。

制作にあたっての法令順守

—— 他者の権利を侵害しないために

本学の学生は、自分の作品の制作・発表によって、他者の著作権、肖像権、その他の人格権（名誉やプライバシーなど）を侵害することのないよう、十分な注意を払う必要があります。

著作権

他者の創作物を利用しながら自分の創作物を作る場合には、その他者の著作権を侵害しないよう、相手方の許諾をとるか、「引用」の範囲内と言えるような利用のしかたにとどめる必要があります。本学の授業の過程において、公表された著作物を複製することは可能ですが、それを超えて複製したものを社会に公表することはできません。また、授業内容や講師の講評コメントなどをSNS上で無断公開しない、各種の試験問題をSNS上で公表しない、というルールを守ってください。著作権のルールについては、本学での学修を通じて、習得してってください。

なお、生成系AIとの付き合い方については、本学のWebサイト上に学長のメッセージが掲載されていますので、「履修ガイドブック」の「ムサビ生のための著作権基礎ガイド」とあわせて参照してください。

肖像権

写真作品や、絵画・彫刻作品の中で、被写体を特定できるような形で人物が写っている場合や写実的に描かれる場合は、被写体となる人の肖像権を侵害しないよう、事前に許諾をとる必要があります。被写体となる人の肖像権を侵害する写真撮影や描画はできませんし、公表することもできません。

その他の人格権や経済的な権利

作品を制作する際に、他者の名誉を毀損すること、プライバシーを侵害することがないように注意を払う必要があります。また、有名人の名前や肖像を使用した作品は、その有名人のパブリシティ権を侵害する可能性がありますので、公表できなくなる場合があります。

その他の制約

法律や各自治体の条例違反、各種の知的財産権の侵害となる行為などは、本学学則に明記がある場合とない場合とを問わず、行わないこと。

自己の著作物について

本学での学修を通じて制作された創作作品（模写などの複製は除く）は、原則として、学生自身の著作物となり、学生本人が著作権を持つこととなります。しかし、本学の学生が本学の学修の過程で作成した著作物は、学生に対する教育の一環として作成されたものですので、本学が学生に対する教育や指導のために利用することが前提となっています。たとえば、本学全体の教育学修向上のため、参考作品として公開したり、『卒業制作作品集』をはじめとする各種の冊子に収録したり、また、作品や授業風景を本学の広報媒体に掲載させていただく場合があります。本学卒業後も、大学で記録を行った課題作品については、同様の取扱いになります。こうした場合について、作者である学生のみなさんから事前の包括的許諾をいただくため、「誓約書」にて誓約をしていただくこととなります。なお、卒業制作を含む課題作品は、制作過程で教員から指導を受けていますので、学生個人の著作物ではなく、教員との共同著作物になる場合があります。そうしたものを公表したい時には担当の教員に相談して許可を得てください。また、授業内容や講師の講評コメントなどをSNS上で無断公開しないでください。

point

科目等履修生も学生と同様の取扱いとします。

II - 1 履修

履修とは開設科目から科目を選択して学習することです。大学での学習はまず「履修登録」から始まります。毎年度、1年間40単位を上限として一括登録します。登録は年度内に1回のみです。

■履修の流れ

Step 1 初回教材が届く

『履修ガイドブック』・『学生ハンドブック』等、入学後の学生生活や履修登録に必要な教材をお届けします。



『履修ガイドブック』

Step 2 履修したい科目を決定する

『Webシラバス』や『履修ガイドブック』、面接授業（スクーリング）日程表等を参考に学習計画を立てます。



『学生ハンドブック』

資格課程登録（希望者のみ）
 ・教員免許状取得希望者（2年次以上）
 ・学芸員資格取得希望者（3年次以上）
 ※資格課程の登録は必ず履修登録の前に行います。

Step 3 学習計画を基に履修したい科目を登録する

Web登録または郵送登録「履修登録票」のどちらかの方法で行います。

Step 4 登録した科目の教材が届く

学習計画にそって学習を始めます。

■卒業

卒業すると本学通学課程と同じ「学士（造形）の学位」が授与されます。

卒業に必要な単位

卒業には124単位以上（面接授業（スクーリング）およびメディア授業の30単位を含む）の修得が必要です。内訳は「文化総合科目」40単位、「造形総合科目」24単位、「学科別専門科目」30単位、その他「文化総合科目」、「造形総合科目」、「学科別専門科目」、「教職に関する科目」「博物館に関する科目」いずれかの科目区分より30単位（認定単位を含む）です。なお、「学科別専門科目」の単位には、学科、コースごとの必修科目、選択必修科目を含みます。

文化総合科目	40単位	合計 124 単位以上 [面接授業およびメディア授業の30単位を含む]
造形総合科目	24単位	
学科別専門科目（卒業制作を含む）	30単位	
その他（文化総合科目・造形総合科目・学科別専門科目・教職に関する科目・博物館に関する科目）	30単位	

info 科目区分の詳細については「入学案内」参照



II - 2 学習

■授業形態

本課程の授業形態には、「通信授業」「面接授業（スクーリング）」「メディア授業」の3つがあり、通信授業のみの科目、スクーリングのみの科目、メディア授業のみの科目、通信授業と面接授業（スクーリング）の両方で構成されている科目等、授業科目により構成はさまざまです。

通信授業

履修登録後に送付する教科書や『学習指導書』にしたがって自宅で学習し、科目ごとに与えられた課題によってレポートや実技課題作品等を作成し大学に提出します。提出されたレポート・実技課題作品等は、教員による添削後返却され、不合格の場合には再提出となります。課題は原則として1単位につき1課題で、課題番号順に提出します。課題についてわからないことがあれば、「学習質問票」（郵送やWeb）を利用して問合せすることができます。

point

レポート・実技課題作品の提出は郵送によるほか、一部の科目ではWebで提出することもできます。

面接授業（スクーリング）

大学のキャンパスなどで行われる教員との対面形式の授業です。原則として1単位につき2日間または3日間受講します[※]。科目ごとに年1回から数回開講されるため、各自の都合にあわせて受講する日程を選択できます。主に鷹の台キャンパスで行われるスクーリングと、三鷹ルーム、市ヶ谷キャンパスで行われる週末（土・日または金・土・日、土・日・祝など）スクーリングがあります。なお、スクーリング受講には、所定の期日までにレポート・実技課題作品提出を要する等、受講条件・順序が定められている科目もあります。また、受講希望が多数の場合、抽選となることがあります。

スクーリング授業時間

午前・午後両方（全日）の科目	9:00～17:30（昼休み 12:45～13:45）
午前みの科目	9:00～12:45
午後みの科目	13:45～17:30
夜間の科目（一部の教職科目のみ）	18:00～20:00

※一部、1日目9:00～17:30、2日目9:00～12:45の1.5日開講の科目もあります。また一部の教職に関する科目は上記と異なる時間割で2日間（土・日）の開講もあります。

info

スクーリング受講料については11ページ参照

メディア授業

講義、課題の提出・添削、質疑応答、修了テスト等をすべてWeb上で行う授業です。

[オンデマンド]と[リアルタイム]の2つの授業形態があります。

メディア授業を受講するためにはインターネットへの接続環境が整ったパソコンが必要です。

なお、オンデマンドの修了テストは、通信障害等のリスクを避けるため、有線環境によるパソコンでの受験を強く推奨します。

■科目試験

「文化総合科目」および「教職に関する科目」の多くは科目試験を実施します（受験料は不要）。各科目に指定された課題数のレポートを提出期限までに提出し、所定の受験申込手続きを行います。受験資格は、受験を希望する科目につき、すべての課題のレポート（不合格となった課題の再提出レポートを含む）が、提出期限までに受理されており、申し込みを行う時点で合格または添削中であることです。科目試験を行う科目は、入学案内12～13ページの★のついている科目です。

科目試験日程 年6回・全国10会場（2025年度）

科目試験日程	
第1回	6月1日（日）
第2回	7月21日（月・祝）
第3回	8月31日（日）
第4回	10月13日（月・祝）
第5回	11月24日（月・祝）
第6回	1月25日（日）

※上記、いずれかの日程で一度合格すれば再度受験する必要はありません。同一科目を6回受験しなければならないものではありません。



■Web環境およびパソコンについて

学習を進めるには、インターネットへの接続環境が整ったパソコンが必須です。履修登録、スクーリングなどの申込みなど基本的な操作ができれば問題ありませんが、作成したファイルをPDFに変換したり、Zoomを利用して授業を受講することもあります。メディア授業 [リアルタイム] ではカメラやマイクも必要になります。パソコンが不慣れな方は、入学後徐々に慣れていくようにしてください。パソコンは画面の見やすさなどご自身にあったものを選んでください。なお、デザイン情報学科の必修科目のスクーリングは、ノート型パソコンが必須です。

推奨環境

対象OS	ブラウザ	ディスプレイ	通信速度
Windows10/11	Microsoft Edge、GoogleChrome	解像度WXGA (1366×768)	10Mbps
macOS	GoogleChrome、Safari		

※上記OS、ブラウザであっても、機種、接続環境によっては正常に動作しない場合があります。

各学科のパソコンの必要性

学科	有無	パソコン	アプリケーションソフト
油絵学科	推奨	インターネットへの接続環境が整ったパソコン。OS、機種は問いません。	Microsoft (Word, PowerPoint)
芸術文化学科	必須	インターネットへの接続環境が整ったパソコン。OS、機種は問いません。	Adobe (Acrobat) Microsoft (Word, Excel)
デザイン情報学科	必須	インターネットへの接続環境が整ったパソコン。必修科目のスクーリングではノート型パソコンが必須です。OSは問いませんが、Macintoshを推奨します。またメモリを増設することをお勧めします。機種はMacBook Airなど。3DCGや映像作品を制作する場合、使用予定のアプリケーションが推奨するスペックを参照してください。	Adobe (Illustrator, Photoshop, Acrobat) Microsoft (Word, Excel, PowerPoint)

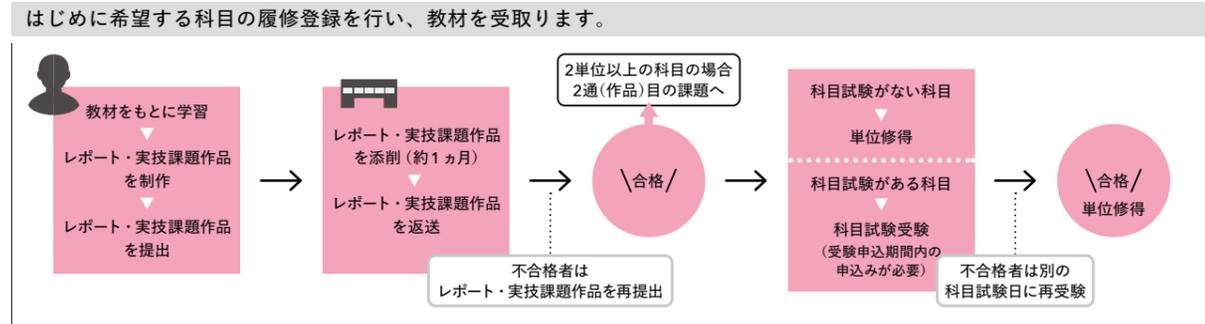
※必要なソフトは科目によって異なります。

※アップル製品、Adobe製品の購入については、入学後、割引で購入できる情報をお知らせします。

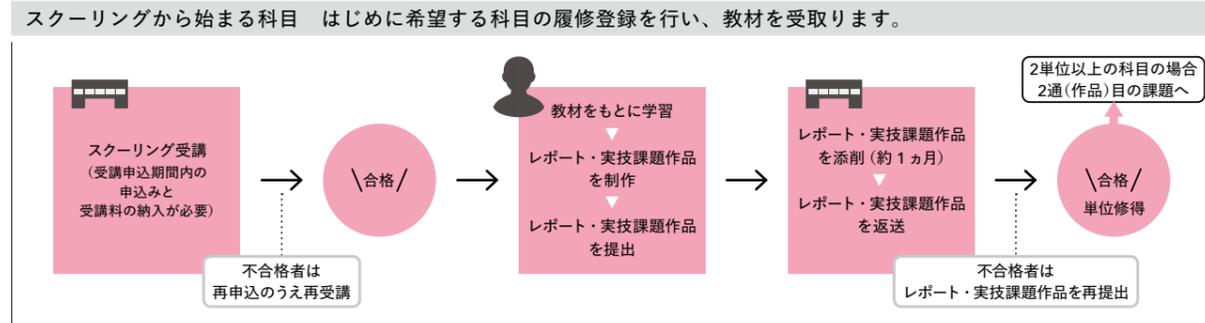
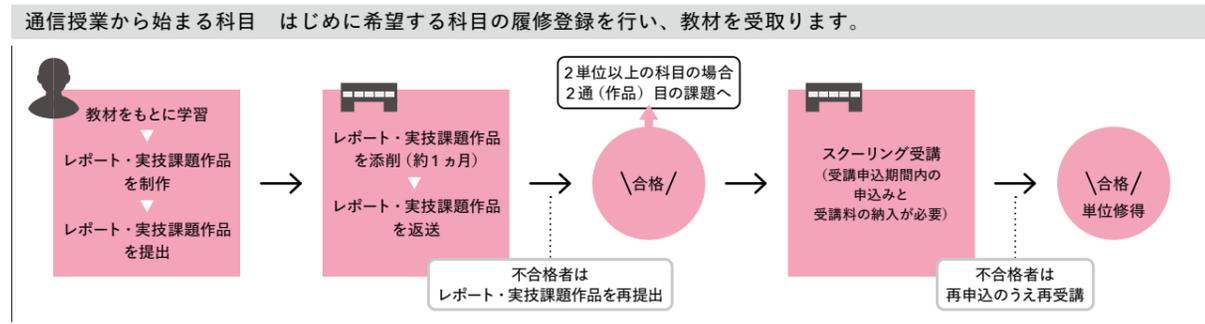
■単位修得の流れ

本課程では単位制を採用しています。単位は授業科目ごとに定められており、授業科目を一定の基準にしたがって履修し、レポート・実技課題作品・面接授業（スクーリング）・科目試験・メディア授業修了テスト等に合格すると、その授業科目の単位が与えられます。

通信授業の科目



通信授業とスクーリングで構成される科目



※レポート・実技課題作品を添削して返却するまでには、1ヵ月程度かかることがあります。
 ※夏期スクーリング期間前後・年末年始の事務取扱休業期間等は、レポート・実技課題作品の添削が一時中断することがあります。

メディア授業[オンデマンド]の科目 (例：文化総合科目)



スクーリング、メディア授業[リアルタイム]の科目

はじめに希望する科目の履修登録を行い、受講希望の期の申込期間内にスクーリング、メディア授業[リアルタイム]受講申込を行います。

※教材の配付はありません。スクーリング、メディア授業[リアルタイム]に合格すると単位修得に至ります(不合格者は再申込のうえ再受講)。

II-3 資格課程

■教職課程

本課程では、教員免許状を取得するための教職課程を開設しています。教員免許状を取得しようと考えている方は、卒業に必要な単位のほかに、教職課程の単位をあわせて修得していただきます。教職課程の科目を履修するためには、入学後に教職課程へ登録を行う必要があります。
 なお、現職の教員の方を対象とした科目等履修生の教職生の制度もあります。該当する方はそちらもあわせて確認してください。

info 科目等履修生の教職生の制度については41～42ページ参照

教職課程のカリキュラム

本課程の教職課程は、2年次から卒業までの3年間のカリキュラムを基本としています。教職課程を履修される方は、卒業のための学習のほかに、免許状取得に必要な単位を修得し、「教育実習」、「介護等体験」を行わなければなりません。お仕事等学習に多くの時間を割けない方は、免許状の取得までに、カリキュラムの3年間に1～2年をプラスした4～5年間の学習計画が必要になるでしょう。

取得できる教員免許状

本課程で取得できる免許状は次のとおりです。

油絵学科・芸術文化学科	中学校1種(美術)教員免許状 高等学校1種(美術)教員免許状 高等学校1種(工芸)教員免許状
-------------	--

※デザイン情報学科でも、中学校1種(美術)、高等学校1種(美術)、高等学校1種(工芸)教員免許状の取得は可能です。

免許状取得にあたっての注意事項

- 教員免許状は、免許状の取得に必要な条件を充足した者に対し、教育職員免許法にもとづいて、都道府県教育委員会により授与されます。
- 法令により、次の各号に該当する方は、教員免許状を取得することはできません。
 [教育職員免許法第5条第1項第3号～第6号]
 第3号 禁錮以上の刑に処された者
 第4号 第10条第1項第2号又は第3号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該失効の日から3年を経過しない者
 第5号 第11条第1項から第3項までの規定により免許状取上げの処分を受け、当該処分の日から3年を経過しない者
 第6号 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他団体を結成し、又はこれに加入した者

教職課程履修費

教育職員免許法第5条 〔別表第1〕にもとづく履修	教育職員免許法第6条 〔別表第3・4・8〕にもとづく履修
115,000円	58,000円

※教職課程履修費の納入は、登録した初年度のみ必要です。

教職課程への登録

教職課程の登録は2年次以上で、かつ「文化総合科目」12単位以上修得していることが登録条件となります。2年次編入学、3年次編入学の方は、編入学時に登録条件を満たしています。

1年次入学

教職課程の登録は2年次以上ですので、入学時に登録をすることはできません。ただし、教職課程の必修科目等には1年次から履修できる科目がありますので、教職免許状の取得を希望する方は、『教職課程ガイドブック（PDF）』をよく読んで、以下の手順を参考に履修登録を行ってください。

- ①入学許可書を受け取り後、Webキャンパスにログインする。
※WebキャンパスのログインID、パスワードの確認方法は入学許可書で通知する。
- ②Webキャンパス「リンク」の「各種資料ダウンロード」の『教職課程ガイドブック（PDF）』をよく読む。
- ③Webシラバス及び『履修ガイドブック』等をよく読む。
- ④卒業に必要な科目や単位数も確認の上、一括で履修登録を行う。

2年次編入学、3年次編入学

- ①入学許可書を受け取り後、Webキャンパスにログインする。
※WebキャンパスのログインID、パスワードの確認方法は入学許可書で通知する。
- ②Webキャンパス「リンク」の「各種資料ダウンロード」の『教職課程ガイドブック（PDF）』をよく読み、教職課程への登録手続書類を確認する。
- ③教職課程履修費を振り込む。
※振込名義は、学籍番号（数字のみ6桁、入学許可書に記載）、学生ご本人の氏名（カタカナ）とする。
- ④「教職課程履修願」を教職担当へ郵送する。なお他大学で修得した単位の流用を希望する方は、教員免許状取得のための「学力に関する証明書（平成28年改正免許法に基づいたもの）」と返送用封筒（110円分切手貼付、郵便番号、住所、氏名を記入）も同封する。
- ⑤大学で確認後、本課程で履修すべき単位を返送用封筒に入れて、大学より通知する。
- ⑥Webシラバス及び『履修ガイドブック』等をよく読む。
- ⑦教職課程の登録が完了したら、卒業に必要な科目や単位数、流用単位を確認の上、一括で履修登録を行う。

教員免許状の取得方法

教員免許状を取得するには、教育職員免許法と本課程のカリキュラムにもとづいて単位を修得する必要があります。下表にあるとおり、すでに免許状を取得している等の履歴によって単位の履修方法（根拠法令）が異なります。必要な単位数も異なりますので、よく確認してください。

所有している免許状	取得希望の免許状	教職勤務年数	根拠法令
なし、または下記以外	中学1種（美術） 高校1種（美術・工芸）	不問	教育職員免許法第5条 〔別表第1〕にもとづく
中学2種（美術）	中学1種（美術）	5年以上	教育職員免許法第6条 〔別表第3〕にもとづく
高校臨時（美術）	高校1種（美術）		
高校臨時（工芸）	高校1種（工芸）		
中学1種・専修（他教科）	中学1種（美術）	不問	教育職員免許法第6条 〔別表第4〕にもとづく
高校1種・専修（他教科）	高校1種（美術・工芸）	3年以上	教育職員免許法第6条 〔別表第8〕にもとづく
小学校1種・2種・専修	中学2種（美術）		
高校1種・専修（美術）	高校1種（美術）		
中学1種・専修（美術）	高校1種（美術）		

修得すべき単位数**教育職員免許法第5条〔別表第1〕**

本課程指定科目をすべて修得した場合（法律上の内訳とは若干異なります）

科目および実習	中学1種（美術）	高校1種（美術）	高校1種（工芸）
教科に関する専門的事項	24	22	20
教職に関する科目	37	33	29
大学が独自に設定する科目	2	4	10
計単位	63	59	59
教育職員免許法施行規則 第66条の6の科目	日本国憲法・体育 外国語コミュニケーション・情報機器の操作 各2単位		
合計単位	71	67	67
介護等体験	必要	不要*	不要*
教育実習	3～4週間	2～3週間	2～3週間

※中学1種（美術）との同時取得を希望する場合は必要になります。

教育職員免許法第6条 [別表第4]

科目および実習	中学1種(美術)	高校1種(美術)	高校1種(工芸)
教科に関する専門的事項	24	22	20
教職に関する科目	8	8	4
合計単位	32	30	24

教育職員免許法第6条 [別表第3・別表第8]

教育職員免許法第6条別表第3、別表第8により単位を修得する場合、勤務年数等によって履修すべき科目や単位数が変わります。所轄の都道府県教育委員会に相談し、指導を受けてください。

他大学(または短期大学)で修得した単位の取扱い

[教育職員免許法第5条 別表第1] によって免許状を取得する方

他大学(または短期大学)を卒業・退学されている方は、出身大学にて教員免許状申請用の「学力に関する証明書」(平成28年改正免許法に基づいたもの)の発行を受け、教職課程登録書類とあわせて本課程へ提出してください。新規登録時の1回に限り、証明書の内容により、本課程で修得の必要な単位等を個別に通知します。

※「成績証明書」では、修得済単位の判定ができませんので、必ず「学力に関する証明書(平成28年改正免許法に基づいたもの)」を提出してください。

※出身大学で教職課程を履修していない場合でも、単位の証明を受けられる場合があります。

証明が受けられるかどうかは、出身大学へお問合せください。

※本学短期大学部通信教育課程に在籍していた方は、提出不要です。

※一度通知をしたあとに、別教科や別校種の免許状を追加した場合でも再度の通知は行いません。

[教育職員免許法第6条 別表第4] によって免許状を取得する方

本課程指定科目をすべて履修する必要があります。他大学で修得した単位は認められません。

[教育職員免許法第6条 別表第3・別表第8] によって免許状を取得する方

所轄の都道府県教育委員会により修得すべき単位の指導を受けてください。

教育実習

「教育職員免許法第5条別表第1」にもとづき、免許状を取得しようとしている方は、「教育実習」を行わなくてはなりません。教育実習は、教職を希望する学生が大学で修得した知識を活用し、学校教育の場において実践的な知識・技能・姿勢を養うために実施されます。教育実習は、実際の教育現場に多大な影響を与えるとともに、教員を志す方を対象としているものです。そのため、都道府県の教員採用条件の年齢の上限を超えた方、上限に近い方は、教育実習校の確保が困難である可能性もあります。

[教育実習受講資格]

教育実習を受講するためには、本課程の指定する「教育実習受講資格」をすべて満たし、本課程の許可を受けなければなりません。特定の期日までに規定の単位を修得し、かつ本学の指導に従う方に限ります。

また「教育実習」は、4年次生で受講年度に卒業予定の方のみ受講することができます。入学初年度に教育実習を受講することはできません。

[教育実習期間と単位]

本課程では教育実習の期間を、原則として以下のように定めていますが、実習校の状況に応じて期間が変更される場合もあります。学生が任意に実習期間を指定することはできません。

免許状校種	単位	実習期間
中学校	5単位	3～4週間
高等学校	3単位	2～3週間

[教育実習校の確保]

教育実習校は学生自身が責任を持って実習校と交渉し、確保する必要があります。本課程では実習校の斡旋・紹介はできません。

[教育実習費用]

21,000円(教育実習受講手続時に必要になります)

介護等体験

「介護等体験特例法(小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律)」および「同法施行規則」(1998年4月1日施行)により、教育職員免許法第5条別表第1で中学校の免許状を取得しようとしている方は、「介護等体験」が必要となります。

「介護等体験」は特別支援学校・社会福祉施設で合計7日間行われ、希望者は大学をとおして申込むことになります。

[実施方法]

「介護等体験」を希望する方は、「介護等体験」を行いたい年度の前年度に、事前指導である「介護等体験」のスクーリングを受講する必要があります。本課程では、入学初年度に「介護等体験」を行うことはできません。「介護等体験」の申込窓口は、都道府県の教育委員会および社会福祉協議会であり、希望者は本課程をとおして申込むことになります。

[介護等体験費]

7,000円～14,000円(都道府県により異なり、介護等体験申込手続時に必要になります)

[介護等体験が不要・免除となる方]

以下に該当する方は介護等体験が免除されます。

①大学(または短期大学)に1998年3月31日前に在籍し、これらを卒業するまでに教育職員免許法第5条別表1に規定する小学校または中学校の教諭の普通免許状に係る所要資格を得た場合(該当する方は所轄の教育委員会に確認してください)

②教育職員免許法第5条別表第1により、すでに小学校または中学校の普通免許状を取得している場合

③介護等体験特例法施行規則第3条(介護等の体験を免除する者)に該当する場合

- 保健師助産師看護師法第7条の規定により保健師・助産師・看護師、または同法第8条の規定により准看護師の免許を受けている方
- 教育職員免許法第5条第1項の規定により特別支援学校の教員の免許を受けている方
- 理学療法士および作業療法士法第3条の規定により理学療法士、作業療法士の免許を受けている方
- 社会福祉士および介護福祉士法第4条の規定により社会福祉士、または同法第39条の規定により介護福祉士の資格を有する方
- 義肢装具士法第3条の規定により義肢装具士の免許を受けている方
- 身体障害者福祉法第15条第4項の規定により交付を受けた身体障害者手帳に、障害の程度が1級から6級である者として記載されている方

教職課程に関して不明な点がある場合は、下記までお問合せください。

通信教育課程 教職課程担当

TEL: 042-342-3404 E-mail: cc-kyosyoku@musabi.ac.jp

■学芸員課程

取得できる資格

全学科共通	学芸員資格
-------	-------

取得にあたっての注意事項

- ①学芸員資格は、学士の学位を取得することが基礎条件です。
必修単位をすべて修得しても、学士の学位を取得していなければ学芸員資格は得られません。
- ②学芸員資格の有効期限はありません。

学芸員課程履修費

芸術文化学科	油絵学科・デザイン情報学科
不要	70,000円

※学芸員課程履修費の納入は、登録した初年度のみ必要です。

学芸員課程の登録

学芸員課程の登録は3年次以上です。

1年次入学、2年次編入学

学芸員課程の登録は3年次以上ですので、入学時に登録をすることはできません。
ただし、学芸員課程の必修科目には、1年次から履修できる科目がありますので、学芸員資格の取得を希望する方は、『学芸員課程ガイドブック (PDF)』「[本学が定める必修科目](#)」を確認した上で、履修登録を行ってください。

- ①入学許可書を受け取り後、Webキャンパスにログインする。
※WebキャンパスのログインID、パスワードの確認方法は入学許可書で通知する。
- ②Webキャンパス「リンク」の「各種資料ダウンロード」の『学芸員課程ガイドブック (PDF)』をよく読む。
- ③Webシラバス及び『履修ガイドブック』等をよく読む。
- ④卒業に必要な科目や単位数も確認の上、一括で履修登録を行う。

3年次編入学

- ①入学許可書を受け取り後、Webキャンパスにログインする。
※WebキャンパスのログインID、パスワードの確認方法は入学許可書で通知する。
- ②Webキャンパス「リンク」の「各種資料ダウンロード」の『学芸員課程ガイドブック (PDF)』をよく読み、学芸員課程への登録手続き類を確認する。
- ③学芸員課程履修費を振り込む。
※振込名義は、学籍番号(数字のみ6桁、入学許可書に記載)、学生本人の氏名(カタカナ)とする。芸術文化学科の学生は学芸員課程履修費の納入不要。
- ④「学芸員課程履修願」を学芸員担当へ郵送する。
- ⑤Webシラバス及び『履修ガイドブック』等をよく読む。
- ⑥学芸員課程の登録が完了したら、卒業に必要な科目や単位数も確認の上、一括で履修登録を行う。

修得すべき単位

博物館法施行規則に定める科目

3年次より履修できます。

本学開設授業科目名	博物館法施行規則に定める科目	単位数	単位の構成 T=通信授業 S=スクーリング
生涯学習概論	生涯学習概論	2	T1 S1
ミュゼオロジーⅠ	博物館概論	2	T1 S1
ミュゼオロジーⅡ	博物館経営論・博物館資料論	4	T4
博物館資料保存論	博物館資料保存論	2	T2
博物館展示論	博物館展示論	2	T2
博物館教育論	博物館教育論	2	T2
メディア論	博物館情報・メディア論	2	T2
博物館実習	博物館実習	3	T1 S2
合計単位数		19単位	

本学が定める必修科目

1年次より履修できます。

本学開設授業科目名 (単位数)	単位数
以下の科目より 美術の歴史と鑑賞 (2)・日本美術史 (2)・東洋美術史 (2)・ 西洋美術史Ⅰ (2)・西洋美術史Ⅱ (2)・デザイン史 (2)・建築史 (4)	選択 8単位

他大学で修得した単位の取扱い

「博物館法施行規則に定める科目」については、他大学で修得した単位を流用することはできません。「本学が定める必修科目」については、武蔵野美術大学または武蔵野美術大学短期大学部において修得した単位であれば流用できる場合がありますので、別途お問合せください。

博物館実習

「博物館実習」は通信授業1単位とスクーリング(面接授業)2単位で構成される授業科目です。実習は、スクーリング期間中の授業内で行います。ただし、自主的に博物館と交渉して学外で実習を行うことも可能です(学外実習をもって面接授業として評価します)。

学芸員課程に関して不明な点がある場合は、下記までお問合せください。

通信教育課程 学芸員課程担当

TEL: 042-342-3404 E-mail: cc-muse@musabi.ac.jp



point

本学造形学部及び造形構想学部卒業生の方へ

本学造形学部（通学課程・通信教育課程）及び造形構想学部の卒業生は、教員免許状を取得するために必要な単位を履修することができる科目等履修生の制度があります（本学短期大学部卒業生は対象外です）。詳細については下記までお問合せください。

教職課程に関して不明な点がある場合は、下記までお問合せください。

通信教育課程 教職課程担当

TEL : 042-342-3404 E-mail : cc-kyosyoku@musabi.ac.jp

II-4 学生生活

■学事予定

年月	全体	スクーリング	科目試験	メディア授業 修了テスト	
2025年	4月	入学 編入学			
	5月		4月25日～5月25日 春期第1回 スクーリング期間	6月1日 第1回科目試験	
	6月		5月30日～7月13日 春期第2回 スクーリング期間	7月21日 第2回科目試験	前期第1回 6月5日～10日
	7月		7月15日～8月24日 夏期 スクーリング期間		前期第2回 7月3日～8日
	8月			8月31日 第3回科目試験	前期第3回 8月14日～19日
	9月		9月5日～10月12日 秋期 スクーリング期間	10月13日 第4回科目試験	
	10月		10月17日～11月23日 冬期第1回 スクーリング期間	11月24日 第5回科目試験	後期第1回 11月6日～11日
	11月		11月28日～1月25日 冬期第2回 スクーリング期間		後期第2回 12月4日～9日
	12月			1月25日 第6回科目試験	後期第3回 1月15日～20日
	2026年	1月			
		2月	2月14日 レポート・実技課題 作品提出期限		
	3月	2月28日～3月3日 卒業制作展 3月13日 卒業式			

■ 学習支援体制

月刊誌『武蔵美通信』

本課程で学ぶ学生は、原則として自宅で通信授業に取り組むこととなります。年齢も居住地も異なる皆さんと大学との繋がりを深めるために、月刊誌『武蔵美通信』を補助教材として毎月初めに送付します。スクーリング、メディア授業、科目試験、教職や学芸員の資格などにかかわる大学からの重要な連絡事項や教員のインタビューなどを掲載しています。

学習会

学生の皆さんが運営し、多くの友人と出会い、かつ情報交換の場として活用されているものが学習会です。大学が認定した学習会には、「学習会支援要項」にそって活動費の一部を援助します。課題勉強会・美術館見学・グループ展など、活動の内容は学習会によりさまざまですが、学生同士互いに励ましあいながら学習を進めるきっかけにもなっています。

美術館・図書館の利用

鷹の台キャンパスには、約40,000点の美術作品やデザイン資料をコレクションする美術館、美術・デザインを中心とした30万冊以上の蔵書を誇る図書館があります。市ヶ谷キャンパス・図書館も利用することができます。

進路情報システムの利用

卒業後に就職を希望する学生は、登録を行うことで進路情報システム「ムサビ進路ナビ」(Webでの企業情報・求人検索)を利用できます。

宿舎の紹介

スクーリング受講の際に利用できる宿舎として、通学が難しい方には大学周辺のホテルやアパート(夏期スクーリング時)・学生会館等の情報を提供しています。

学校学生生徒旅客運賃割引証(学割)と通学定期券の購入

スクーリング受講・科目試験受験または卒業制作指導・卒業制作講評の受講といった学事のためにJR線を利用する際、学事会場までの片道の乗車区間が101km以上ある場合は、学割(学校学生生徒旅客運賃割引証)を利用することができます。また、スクーリング等で長期間受講する場合は、電車・バス等の通学定期券(1ヵ月)を購入するための「通学証明書」を発行します。

※科目等履修生には学割証・通学証明書は発行されません。

キャンパスメンバーズ/パートナーシップ

東京は世界でもまれな美術館・博物館の集積都市です。本学はさまざまな施設と提携し、学生証の提示のみで特典を受けられる「キャンパスメンバーズ」・「パートナーシップ」等に加盟しています。利用できるおもな施設は下表のとおりです。

クラブ名	施設名
東京都歴史文化財団 パートナーシップ	江戸東京博物館 江戸東京たてもの園 東京都現代美術館 東京都美術館 東京都庭園美術館 東京都写真美術館 東京文化会館
府中市美術館 メンバーシップ	府中市美術館

クラブ名	施設名
東京国立博物館 キャンパスメンバーズ	東京国立博物館
国立美術館 キャンパスメンバーズ	東京国立近代美術館(国立映画アーカイブ含む) 国立西洋美術館 国立新美術館
国立科学博物館 大学パートナーシップ	国立科学博物館 附属自然教育園 筑波実験植物園
日本民藝館 キャンパスメンバーズ	日本民藝館

※特典内容の詳細については、入学後にお知らせします。

■ 奨学金

武蔵野美術大学造形学部通信教育課程奨励奨学金

本課程に在学している学生の中から、造形に関する能力と学習に意欲があり、なおかつ、申請年度の履修が計画的に行われている15名の学生に対し、選考のうえ、奨励奨学金を贈与(学費免除)します。入学年度より応募できます。

① 贈与(学費免除)額

- [1種] 年間授業料の全額: 5名
- [2種] 年間授業料の半額: 10名
(2024年度の申請者は66名)

※奨励奨学金の贈与は年次ごとに1回限りとします。一度奨励奨学金を贈与された方は、次年度以降同一年次での奨励奨学金の申請はできません。

② 選考スケジュール

- 4月初め 月刊誌『武蔵美通信』に募集要項掲載
- 5月下旬 出願締切(ポートフォリオ提出)
- 6~7月 審査
- 9月初め 月刊誌『武蔵美通信』で採用者発表

武蔵野美術大学校友会奨学金

卒業生からの募金と奨学金基金をもとに、校友会(本学卒業生の組織)で選考のうえ、4年次生(卒業見込の者)へ贈与されます。

贈与額

- ・100,000円: 3名(例年実績)

日本学生支援機構奨学金(JASSO)

① 給付型

原則として「返済不要」の奨学金です。採用された場合、審査のうえ決定される「区分」によって給付額が決まります。また、本学は2020年4月から始まった「高等教育の修学支援新制度」の対象校として選定されています。これに伴い、給付奨学金に採用された学生については、制度に則って授業料等減免支援を受けることができます。詳細は入学後にお知らせします。

② 貸与型

当該年度の夏期・冬期スクーリングを受講する学生に対し、選考のうえ、年1回下記の貸与申請ができます。出願資格は「独立行政法人日本学生支援機構法」により定められた規定によります。なお、貸与奨学金には、無利子貸与の[第1種]と、有利子(上限3%)貸与の[第2種]があります。詳細は入学後にお知らせします。

[第1種] 貸与額: 88,000円

[第2種] 貸与額: 20,000円~120,000円

■教育ローン

大学提携教育ローン

本課程は、下記の教育ローンを取り扱う金融機関と提携しています。制度内容・手続必要書類等の詳細は、各機関に直接お問い合わせください。審査の結果、融資を受けられない場合があります。

info 13ページ参照

名称	対象	利用対象	問い合わせ先
株式会社ジャックス	全学生	入学金、選考料、授業料、 教職課程履修費、学芸員課程履修費 注) スクーリング受講料は対象外	「株式会社ジャックス」コンシューマーデスク TEL : 0120-338-817 https://www.jaccs.co.jp/service/credit/education/yuyu/
楽天銀行株式会社	全学生	入学金、選考料、授業料、 教職課程履修費、学芸員課程履修費 注) スクーリング受講料は対象外	楽天銀行株式会社 カードセンター教育ローン専用ダイヤル TEL : 0120-61-6910 https://www.rakuten-bank.co.jp/loan/education/

※科目等履修生は対象ではありません。

※利率、返済方法等詳細は直接お問い合わせください。

国の教育ローン

入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。制度内容・手続必要書類等の詳細は、直接お問い合わせください。審査の結果、融資を受けられない場合があります。

名称	対象	利用対象	問い合わせ先
日本政策金融公庫	全学生	入学金、授業料、 アパート・マンション等の家賃等	「国の教育ローン」コールセンター TEL : 0570-008656 https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html

※科目等履修生は対象ではありません。

※利率、返済方法等詳細は直接お問い合わせください。

■厚生施設

学生同士が自主的に集まって親交を深める場として利用できます。

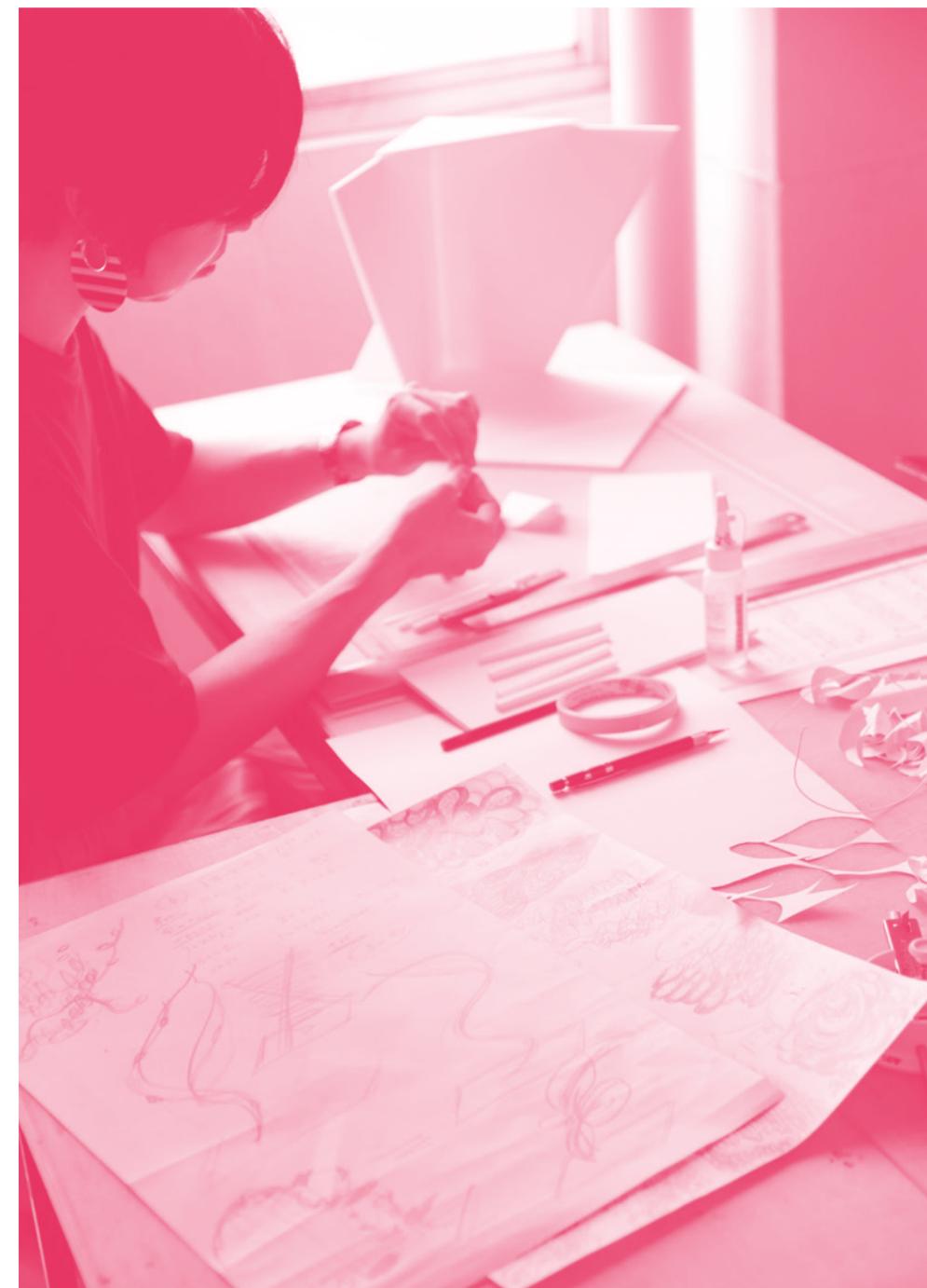
・五箇山「無名舎」

越中五箇山の典型的な合掌造りの民家を、研究・保養施設として改修した施設です。

・奈良寮

建物は国宝・重要文化財の修復に功績を残した故新納忠之介氏の旧宅で、正倉院の近くに位置し、研究旅行に最適です。

科目等履修生募集要項



■科目等履修生概要

科目等履修生とは、1年ごとに登録をし、特定の科目を履修する制度です。履修期間は1年ですが、所定の手続を行うことで、2年、3年と継続して登録することが可能です。

正規入学前に本課程の学習を体験する「Pre-Study Program (PSP)」として履修することもできます。

科目等履修生の種類

科目等履修生とは制度の総称で、登録条件によって3つの種類に分かれています。

	一般 (PSP)	特修生	教職生
制度概要	大学卒業資格は必要としませんが、希望する科目だけを受講したいという方のための制度。学芸員資格や教員免許状の取得を目的とする履修はできません。	大学入学資格を持たずに、本課程に入学を希望する方のための制度。特修生として必要な単位を修得することにより、1年次に入学することができます。	現職の教員が、現在所有している免許状の他に、別の教員免許状を取得するための制度。
受講資格	18歳以上で、高等学校等の卒業資格がある方	18歳以上	現職の教員
履修期間	1年間（2年目以降も履修を希望する場合は、1年ごとに更新の手続が必要になります）		
登録時期	4月1日		

出願期間

2025年3月1日(土)～3月31日(月) (消印有効)

※出願期間内に「①Web出願」、「②考査料の振込」、「③出願書類の郵送」を完了させてください。

※春期第1回スクーリングの受講を希望する方は、3月10日(月)までに上記①②③を完了させることを推奨します。なお、受講申込をしても申込人数が定員を超えた場合は抽選となりますのでご承知おきください。

募集人員

一般 (PSP) 特修生 教職生	若干名
------------------------	-----

■一般 (PSP = Pre-Study Program)

受講資格

18歳以上で、高等学校等の卒業資格がある方であればどなたでも受講できます。

履修科目

科目の概要はWebシラバスで確認できます。

文化総合科目

- 通信授業のみの科目…43科目
- 面接授業のみの科目…「レポート入門II」「コンピュータリテラシーI」
- メディア授業のみの科目…「レポート入門I」「カメラリテラシー」

造形総合科目

- 通信授業のみの科目…「造形基礎I」「造形基礎IIA」
 - 面接授業のみの科目…「造形基礎IIB」
- 履修単位数についてはとくに上限を設けません。学芸員資格や教員免許状の取得を目的とする履修はできません。

単位認定

修得した単位は、本課程に入学、編入学した場合、科目ごとに個別認定します。入学後、同じ科目を履修することはできません。

■特修生

受講資格

18歳以上であればどなたでも受講できます。

履修科目

科目の概要はWebシラバスで確認できます。

文化総合科目	A群:「レポート入門I」「レポート入門II」「コンピュータリテラシーI」「コンピュータリテラシーII」
	B群:「文学」「歴史学」「哲学」「社会学」「経済学」「憲法」「心理学」「数学」「物理学」「自然科学概論」「英語I」「フランス語初級」「健康と体力研究」

※高等学校等の卒業資格がない方でも、上記科目から16単位以上(A群から4単位以上、B群から12単位以上)を修得した場合、本課程の1年次に入学することができます。

単位認定

修得した単位は、本課程の1年次に入学した際、30単位まで科目ごとに個別認定します。入学後、同じ科目を履修することはできません。

■教職生

受講資格

現職（受講年度の4月から1年間勤務中）の教員〔学校教育法第1条に規定する学校（以下、1条校）の専任教諭、常勤・非常勤講師、臨時教員〕が受講できます。出願にあたり、教職生として登録する年度の4月から1年間、1条校に教員として勤務する見込みのあることが条件です。なお、1条校には専修学校、専門学校、各種学校、保育所等は含まれませんし、また1条校に勤務していても、助手・事務系職員等は除きます。

根拠法令

本課程の教職生はすべて教育職員免許法第6条に定める条項に沿って科目を履修することになります。免許法第6条は教育職員検定の規定で、各別表に定められた要件を満たすことにより、授与権者である「勤務校のある都道府県の教育委員会」の検定によって教員免許状が授与されます。どの根拠法令により履修すべきかは、必ず所轄の教育委員会に指導を受けてください。

取得できる免許状

所有する免許状	取得できる免許状	根拠法令
中学2種（美術）	中学1種（美術）	①別表第3
高校臨時（美術）	高校1種（美術）	
高校臨時（工芸）	高校1種（工芸）	
中学1種・専修（他教科）	中学1種（美術）	②別表第4
高校1種・専修（他教科）	高校1種（美術・工芸）	
小学校1種・2種・専修	中学2種（美術）	③別表第8
高校1種・専修（美術）		
中学1種・専修（美術）	高校1種（美術）	

※上記に該当しない方は、現職教員であっても登録できません。

①別表第3

2種免許状や臨時免許状から1種免許状へ上進する

教員として5年以上の在職年数を有し、すでに取得している免許状の同校種同教科の上級免許状を取得する場合。

所有する免許状	取得できる免許状	最低在職年数*	最低修得単位
中学2種（美術）	中学1種（美術）	5年	45 単位 (在職年数5年の場合)
高校臨時（美術）	高校1種（美術）		
高校臨時（工芸）	高校1種（工芸）		

※教員免許法では、「同種の学校（特別支援学校を含む）の教員または講師として良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有すること必要とする」年数と定められています。在職年数の数え方は教育委員会により異なるので、5年以上の在職年数を有するか、各自で教育委員会に確認する必要があります。最低在職年数を超える勤務年数がある場合は、在職年数に応じて最低修得単位が軽減されます。

履修科目

具体的な修得すべき科目（単位）は、在職年数により異なるため、法令上の科目名で、どの科目を何単位修得することが必要か教育委員会に指導を受けてください。

【参考】

在職年数	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年～
最低修得単位	45 単位	40 単位	35 単位	30 単位	25 単位	20 単位	15 単位	10 単位

②別表第4

他教科の免許状を取得する

すでに取得している中学1種免許状や高校1種免許状の同校種他教科の免許状を取得する場合。

所有する免許状	取得できる免許状	最低修得単位*	
		教科に関する科目	教職に関する科目
中学1種・専修（他教科）	中学1種（美術）	24 単位	8 単位
高校1種・専修（他教科）	高校1種（美術）	22 単位	8 単位
	高校1種（工芸）	20 単位	4 単位

※「美術」の免許状を取得する場合の修得単位は、本課程指定必修科目の関係上、法定単位よりも多くなります。

履修科目

本課程指定科目をすべて履修する必要があります。

③別表第8

隣接校種の免許状を取得する

教員として3年以上の在職年数を有し、すでに取得している免許状の隣接校種の免許状を取得する場合。

所有する免許状	取得できる免許状	最低在職年数*	最低修得単位
小学校1種・2種・専修	中学2種（美術）	3年	14 単位
高校1種・専修（美術）			9 単位
中学1種・専修（美術）	高校1種（美術）		12 単位

※教員免許法上では、「同種の学校（特別支援学校を含む）の教員または講師として良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有すること必要とする」年数と定められています。在職年数の数え方は教育委員会により異なるので、3年以上の在職年数を有するか、各自で教育委員会に確認する必要があります。

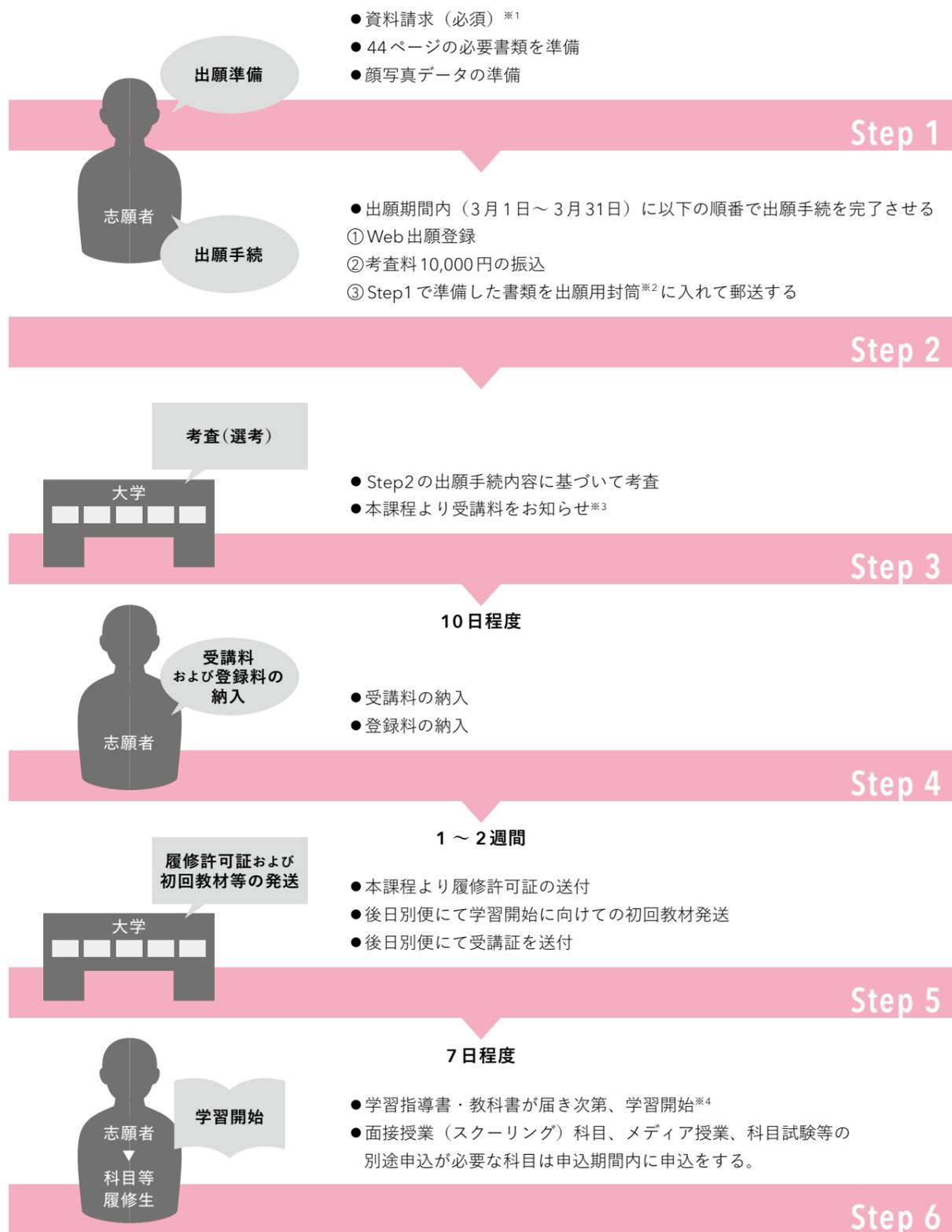
履修科目

具体的な修得すべき科目（単位）は、法令上の科目名で、どの科目を何単位修得することが必要か、教育委員会に指導を受けてください。

info

教職課程ガイドブック科目等履修生（教職生）参照

出願手続から学習開始までの流れ



※1 出願に必要な「出願用封筒」が学生募集要項に同封されています。
 ※2 本誌に同封しています。
 ※3 Step2の①②③の完了後、10日程度を目処に送付します(締切間際はさらに日数を要しますのでご了承ください)。
 ※4 レポート・実技課題作品の提出ができるのは4月1日以降です。

■ Web出願について

本課程への出願方法はWeb出願のみとなります。
 Web出願登録後、「審査料のお振込み」と「出願書類の郵送」を行ってください。
 Web出願に必要な準備については、14ページをご確認ください。

■ 教職特例または学芸員特例の方

教職特例・学芸員特例の方向けの「科目等履修生募集要項(黄色)」を資料請求の上で確認して出願手続を行ってください。

■ 出願書類一覧

Web出願登録前に以下の表を見て書類を揃えておき、Web出願登録と審査料振込後、速やかに書類を出願用封筒^{※2}に入れて簡易書留で郵送提出してください(送料は大学負担)。
 教職特例または学芸員特例の方は、専用の募集要項(黄色)をご確認の上、出願手続を行ってください。

●印は、必須書類です。△印は、該当者のみが提出する書類です。-印は、不要な書類です。

	必要書類名	一般	特修生	教職生
本学所定の書類	誓約書(保証書)・個人情報の取り扱いに関する同意書 ^{※1}	●	●	●
	出願用封筒 ^{※2}	●	●	●
	在職証明及び推薦書 ^{※1}	-	-	●
	身体等の状況連絡票 ^{※1}	△	△	△
受講資格を証明する書類	高等学校の卒業証明書または高等学校卒業程度認定試験(旧大検)の合格証明書	●	-	-
	住民票の写しまたは住民票記載事項証明書	●	●	●
	戸籍抄本(証明書氏名と現在の氏名が異なる場合)	△	△	-

※1 Webサイトの「Web出願」ページから両面印刷するか、54ページ以降の書式を両面コピーしてください。
 ※2 本誌に同封しています。

point

- ・各種証明書類は発行から6ヶ月以内のもの(原本)を提出してください。
- ・外国の学校の書類については、日本語に翻訳されたものが必要です。その際、大使館等の公的機関で証明された日本語訳または英語訳の原本の両方を提出してください。
- ・一旦提出された書類はいかなる理由があっても原則として返却しません。
- ・出願書類に虚偽の記載があった場合は、履修を許可した後であっても登録を取消す場合があります。

■出願書類の諸注意

出願書類に不備がある場合は、メールまたは電話にてご連絡します。出願時には必ず連絡の取れる連絡先をご登録ください。不備がある場合は学習開始が通常よりも遅れますので、提出前に入念にチェックしてください。なお、提出された書類は一切返却しません。

■本学所定の書類

誓約書（保証書）・個人情報の取扱いに関する同意書

- ・ Webサイトの「Web出願」ページから両面印刷するか、54ページ以降の書式を両面コピーしてください。
- ・ 志願者ご本人と保証人両名の署名・捺印をお願いします。
- ・ 保証人は国内在住で、成人の方であればどなたでも問題ありません。

出願用封筒

- ・ 本誌に同封されています。
- ・ 出願書類をすべて封入して、郵便局より簡易書留で郵送してください。
- ・ 郵送料は大学負担のため、切手は不要です。

在職証明及び推薦書

- ・ Webサイトの「Web出願」ページから印刷するか、54ページ以降の書式をコピーしてください。
- ・ 教職生の方は、本務校で記載等を受けてください。

身体等の状況連絡票

- ・ 入学後に学習上の配慮を希望される方は、10ページをお読みいただき、事前相談のうえでご出願ください。
- ・ Webサイトの「Web出願」ページから両面印刷するか、54ページ以降の書式を両面コピーしてください。

■受講資格を証明する書類等

高等学校の卒業証明書または高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）の合格証明書

科目等履修生（一般）として出願する方は提出してください。

住民票の写しまたは住民票記載事項証明書

住民票の写しはコピーのことではありません。

戸籍抄本

現在の氏名と各種証明書の氏名が異なる場合は、必ず提出してください。

旧姓・通称名使用願

旧姓・通称名の使用を希望する方は、Webサイトの「Web出願」ページより出力の上、提出してください。

※通称名の使用は、外国籍の方が住民票記載の通称名を使用する場合、性別違和あるいは性別不合のために通称名の使用を希望する場合に申請することができます。

■考査料・登録料・受講料

考査料・登録料

考査料10,000円は、出願書類を送付する前にお振込みください。登録料45,000円は、後日、受講料とあわせて本課程よりご請求します。

考査料	10,000円
登録料	45,000円

※登録料は、次年度以降在籍する場合、毎年度必要となります。

受講料

登録料45,000円とあわせて、後日に本課程よりご請求します。

一般・特修生

登録区分	一般	特修生
受講料	講義科目 ————— 13,000円／1単位 講義科目以外の授業科目 — 20,000円／1単位 (コンピュータリテラシーⅠ・Ⅱ、造形基礎Ⅰ・ⅡA・ⅡB) ※継続の場合も毎年受講料が必要です。	講義科目 ————— 13,000円／1単位 講義科目以外の授業科目 — 20,000円／1単位 (コンピュータリテラシーⅠ・Ⅱ) ※継続の場合も毎年受講料が必要です。
スクーリング受講料	講義科目 ————— 9,000円／1単位 (レポート入門Ⅱ) 講義科目以外の授業科目 — 15,000円／1単位 (コンピュータリテラシーⅠ、造形基礎ⅡB)	講義科目 ————— 9,000円／1単位 (レポート入門Ⅱ) 講義科目以外の授業科目 — 15,000円／1単位 (コンピュータリテラシーⅠ)
メディア授業受講料	講義科目 ————— 12,000円／1単位 (レポート入門Ⅰ、カメラリテラシー)	講義科目 ————— 12,000円／1単位 (レポート入門Ⅰ)

教職生

登録区分	「別表第3」「別表第8」にもとづく	「別表第4」にもとづく
受講料	講義科目 ————— 9,000円 / 1単位 講義科目以外の授業科目 ——— 13,000円 / 1単位 次年度以降在籍した場合、前年からの継続科目は免除。 追加・変更して登録する科目は、 講義科目 ————— 9,000円 / 1単位 講義科目以外の授業科目 ——— 13,000円 / 1単位	320,000円 次年度以降在籍した場合、免除。
スクーリング受講料	講義科目 ————— 9,000円 / 1単位 講義科目以外の授業科目 ——— 15,000円 / 1単位	

※講義科目・講義科目以外の授業科目の区分については下表のとおりです。「文化総合科目」「造形総合科目」「学科別専門科目」「教職に関する科目」の詳細については『入学案内』を参照してください。
 ※納入された受講料はいかなる理由があっても返還しません。
 ※受講する科目によっては別途教材費・参考図書代等がかかるものもあります。
 ※不合格によりスクーリング（面接授業）が再受講となった場合、新たに同一の受講料・申込が必要です。

point
 スクーリングおよびメディア授業を受講する場合は、別途受講申込みと受講料の納入が必要です。

考査料・登録料・受講料振込先

金融機関名	支店名	預金種目	口座番号	口座名義
みずほ銀行	荻窪支店	普通	2352427	ガク)ムサシノビジュツダイガクツウシン キョウイクカモクトウグチ 学校法人武蔵野美術大学通信教育科目等口

※必ず、志願者ご本人の氏名でお振込みください。出願書類を送付する前にお振込みください。

講義科目と講義科目以外の授業科目

	講義科目	講義科目以外の授業科目
文化総合科目	右記以外	コンピューターリテラシーⅠ～Ⅱ、 健康と身体運動文化Ⅰ～Ⅳ、ワークショップ研究Ⅰ・Ⅱ
造形総合科目	—	全科目
学科別専門科目	—	全科目
教職に関する科目	右記以外	教育実習Ⅰ・Ⅱ、教職実践演習（中・高）、介護等体験

Q
&
A



本課程への入学を希望される方は、さまざまな学歴・年齢・環境・目的を持っていますので、質問の内容も多種多様です。その中でもとくに多く寄せられる疑問・質問を紹介し、回答します。

category 1

入学についての質問

Q1. 入学選考はどのように行われますか？

入学選考は、出願時に提出された書類により行われます。向学心に燃える気持ちと入学後の学習努力が大切という視点に立って受け入れますので、入学前の美術・デザインの経験や学習成績を気にする必要はありません。

Q2. 現在大学に通っていますが、入学できますか？

大学等学校教育法第1条に定める学校等に在学中の方は、二重学籍になりますので、入学することはできません。

info 8ページ参照

Q3. 高校を卒業していませんが、入学できますか？

大学入学資格がない方に大学教育を受ける機会を提供する目的で、「特修生制度」があります。所定の単位を修得し、入学審査に合格すると、本課程に限り正式に入学することができます。特修生で修得した単位は、入学後に30単位まで認定されます。

info 特修生制度については40ページ参照

Q4. 海外で通信教育課程の学習をすることはできますか？

可能です。ただし、教材・事務手続等すべての郵便・宅配物の送付先を日本国内に限定しています。海外での受取り

を希望される場合は、日本国内に送付先を確保していただき、そちらから海外への送付を行ってください。なお、スクーリングと年6回の科目試験は日本国内で行われます。

category 2

学費についての質問

Q1. 授業料の分納払いは可能ですか？

可能です。1年間分の授業料(330,000円)を入学手続時と9月30日までの2回に分納(各165,000円)することができます。入学手続時には選考料と入学金も併せて納入してください。入学後は預金口座振替での分納のみとなります。

Q2. 授業料以外にかかる費用はありますか？

スクーリング受講料、メディア授業受講料、学習を進めていくうえで必要な参考図書等の購入費用、作品制作のための材料費等、レポート・実技課題作品の送料の費用がかかります。また、スクーリング時に、科目によっては、教材の実費を負担していただく場合があります。

Q3. 教科書は別に購入しなければならないのですか？

教科書は、履修登録をした科目について本課程から無償で配付されます。

Q4. 科目試験受験に際し、受験料はかかりますか？

不要です。再受験の場合も受験料はかかりません。

category 3

学籍についての質問

Q1. 休学制度はありますか？

休学期間は半年または1年で、通算で3年を超えることはできません(休学期間は在学年数に算入されません)。なお、入学した初年次での休学はできません。また、授業料は免除されますが、休学料として1年間20,000円、半年間10,000円がかかります。

category 4

履修・スクーリングについての質問

Q1. 1年間の履修登録の上限はありますか？

40単位までです。ただし、教職課程履修者が「教職に関する科目」を、または芸術文化学科芸術研究コース以外の学芸員課程履修者が「博物館に関する科目」を履修する場合は40単位に含めずに履修登録することができます。

Q2. スクーリングは出席しなければいけないのですか？ また、スクーリングは、年間何日程度通う必要がありますか？

入学希望の学科・コースや科目の選択によって異なりますが、1年間で20日間程度はスクーリングに通う必要があるものとお考えください(教職課程を履修する場合等は、さらにスクーリング単位が必要になります)。また、スクーリングは、限られた日程の中で確かな実力がつくように、非常に密度の高い授業内容で編成されています。原則として欠席や遅刻・早退はできません。

Q3. 夏期スクーリング6日間の科目を、3日間ずつ分けて取ることはできないのでしょうか？ また、同じ日に重なった科目は受講できないのですか？

6日間連続して受講しなくてはなりません。例えば、夏期スクーリングで3日間、秋期週末スクーリングで3日間の

ように3日間ずつ分けて受講することはできません。スクーリングの受講時間は、9時から17時30分までです(ただし、一部の授業科目に例外もあります)。同じ日に重なった科目は受講できませんが、同一会場で開講される午前のみまたは午後のみ科目については、午前と午後で異なる科目を受講することができます。

Q4. 授業でパソコンは使いますか？

メディア授業を受講するためにはインターネットへの接続環境が整ったパソコンが必要です。また、履修登録・スクーリングや科目試験の申込手続、大学への各種問合せ、レポートの提出等にも利用できます。なお、デザイン情報学科の必修科目のスクーリングは、ノート型パソコンが必須です。

info 24ページ参照

category 5

学生生活についての質問

Q1. スクーリング期間中の宿泊施設はどうなりますか？

大学周辺のアパート(夏期スクーリング時)や学生会館・ホテル等を不動産業者等を通して紹介します。なお、通信教育課程の学生は、武蔵野美術大学学生寮の利用はできません。

Q2. 奨学金を入学前に受けることはできますか？

本学では、大学より学費が免除される奨励奨学金と校友会奨学金、日本学生支援機構による奨学金の3つの制度があります。詳細は入学後にお知らせします。

info 36ページ参照

category 6

卒業についての質問

Q1. 通信教育は4年間での卒業が難しいと聞きましたが本当ですか？

計画的に履修すれば4年間で卒業できるようにカリキュラムを構成してあります。ただし、お仕事等スクーリングの受講がスムーズにできないなどの場合、卒業まで5年以上かかる場合もあります。1年次入学の場合、最長10年間在学が可能で、入学翌年度からは休学制度（計3年間）もありますので、学習環境にあわせて学べます。

Q2. 卒業証書に「通信教育課程」と記載されますか？

卒業証書には記載されず「学士（造形）」の学位が明記されます。ただし、卒業証明書等には「通信教育課程」と記載されます。

Q3. 卒業後に就職をしたいのですが、就職相談は受けられますか？

夏期スクーリング時にのみ就職相談を受けられます。また、就職情報システムの利用申請を行うことで、通学課程の学生と同様に、就職情報資料（主に新卒採用）の閲覧が可能です。

Q4. 通信教育課程から通学課程への転籍制度はありますか？

通学課程3年次または2年次への編入学試験に合格することで転籍が可能です。編入学試験等の詳細は通学課程Webサイトの受験生サイトを参照してください。

Q5. 卒業後、大学院に進学することはできますか？

本課程に大学院はありませんが、本課程を卒業すれば、本学通学課程や他大学の大学院の受験資格が得られます。

category 7

資格関係についての質問

Q1. 教員免許状を取得するまでに最短で何年かかりますか？

本課程のカリキュラム上は、1年次入学した場合は4年間、2年次編入学した場合は3年間となります。しかし、卒業に必要な単位のほかに免許状取得に必要な単位を修得する必要があること、「教育実習」や「介護等体験」等を行う期間に本課程の学習ができないことを考慮すると、さらに1～2年間の学習期間を必要とする場合がほとんどです。

Q2. 以前、他大学で教職課程を履修していたので、教員免許状を取得するのに必要な科目のうち、再度の履修が不要になる科目がありますか？

その場合もありますので、出身大学で発行された「学力に関する証明書」（新法形式）を提出してください。

Q3. 教育実習は必要ですか？

別表第1により免許状を取得する方はほとんどの場合、必要になります。別表第3・別表第4・別表第8の場合は不要です。

Q4. 他大学を卒業しているのですが、教員免許状を取得するためのコースはありますか？

現職の教員の方を対象とした科目等履修生（教職生）制度があります。現職の教員でない方は、本課程に入学し、卒業を目指しながら教員免許状の取得に必要な単位を修得してください。

info 26～30ページ参照

Q5. 教育実習校は大学が決めてくれるのですか？

教育実習校は学生自身で探す必要があります。本課程では紹介や斡旋を行いません。教育実習の手続等は入学後に指導します。

Q6. 教員免許状を取得すれば、教員になれるのでしょうか？

教職課程で指定された科目の単位を修得し、本課程を卒業することで教員免許状を申請できます。ただし、免許状を取得しただけでは教員にはなれません。公立学校の教員になるには、各地方自治体が実施する教員採用試験に合格しなければなりません。教員採用試験については各都道府県の教育委員会にお問合せください。私立学校

の場合は、学校ごとに募集を行なっていますので、採用情報等を各自でチェックしてください。

Q7. 学芸員の資格を取りたいのですが、資格のみ取得というコースはありますか？

資格のみを取得するコースはありません。ただし、芸術文化学科芸術研究コースの学科別専門科目には、学芸員課程を履修する際に必要な「博物館に関する科目」の一部が含まれています（学芸員課程の登録手続が必要ですが、学芸員課程履修費は不要です）。また、芸術文化学科芸術研究コース以外の学科・コースでも、3年次で学芸員課程の登録手続をし（芸術文化学科以外の学生は学芸員課程履修費が必要です）、「博物館に関する科目」等の単位を修得することで学芸員の資格を取得できます。なお、スクーリング日程の重複等により、2年間での資格取得は難しい場合があることに注意してください。

category 8

科目等履修生についての質問

Q1. 大学卒業の資格を必要としていませんが、興味のある科目だけを履修することはできるのでしょうか？

「文化総合科目」「造形総合科目」のうち、決められた科目に限り、科目等履修生として受講することができます。

info 40ページ参照

Q2. 科目等履修生（教職生）としての出願を考えているのですが、1年間ですべての単位を修得できなかった場合、継続して学習することはできますか？

科目等履修生は1年間の制度ですが、所定の手続により継続して学習することができます。ただし、科目の追加・変更登録がある場合、受講料が必要になることがあります。

info 科目等履修生（教職生）については41～42ページ参照

category 9

学習全般についての質問

Q1. 美術・デザインの専門的な学習は未経験ですが、学習についていけますか？

未経験ということを前提にカリキュラムが組まれています。

Q2. 学習していてわからないことがあれば、どこに相談すればよいのですか？

まず、教科書や『学習指導書』をじっくり読むことが大切です。そのうえでわからないことは、「学習質問票」を本課程に郵送して、問合せすることができます。科目によってはWebを通じて問合せすることも可能です。

Q3. 制作した実技課題の作品は、どのようにして提出するのですか？

通信授業の実技課題の作品は、原則として郵送で、一部の科目ではWebで提出できます。実技課題作品の送付方法等はご入学時に配付する『学生ハンドブック』でお知らせします。

Q4. 画材・デザイン用具は何もありませんが、どうしたらいいですか？

あらかじめ買い揃えておく必要はありません。入学後、教科書・『学習指導書』等により教員からアドバイスがあります。学習の進み具合に応じて、課題にしたがって最小限の用具から買い揃えてください。

Q5. 通信教育課程に入学した場合でも、学生証は発行してもらえるのでしょうか？

発行されます。学生証の提示により美術館や映画館の入場等に学割が適用される場合がありますが、通学定期券やJRの学割購入の際には制限があります。

Q6. 旅行の際に学割は使えますか？

科目試験やスクーリング等の学事に参加する場合に限り発行します。

Q7. 通学定期券は買えますか？

スクーリング受講時等、長期間に渡って通学する場合には、学生割引の通学定期券（1ヵ月）を購入するための通学証明書を発行します。なお、JRの規則により科目等履修生には発行されません。

Q8. 厚生労働省の教育訓練給付制度は利用できますか？

厚生労働省の教育訓練給付制度の対象にはなっていません。

Q9. 留学の制度はありますか？

本課程に在学中の方を対象とした海外留学の制度はありません。ただし、協定留学については本学通学課程の大学院へ進学された場合は対象となります。

Q10. 大学内に通信授業課題を制作できる場所がありますか？

本課程の学習は自宅など大学以外の場所で通信授業課題の制作に取り組み、郵送やWebなどの定められた方法で提出することが前提になっています。そのため大学内には恒常的に通信授業課題を制作できる場所はありません。絵画表現コース、日本画表現コースは学年が上がるにつれ、課題のサイズも大きくなりますので、各自で課題サイズに合わせた制作場所を確保する必要があります。

Q11. 入学前に科目の内容を知りたいです。

WebシラバスをWebサイト上で公開しています。全科目の概要、授業内容をいつでも自由に閲覧することができます。

書式

次のページ以降の書式をコピーしてお使いください。



■個人情報の取扱いについて

出願にあたってご記入いただいた住所・氏名・生年月日等の個人情報は、個人情報保護法並びに同法の趣旨に則り定められた「学校法人武蔵野美術大学個人情報保護取扱規則」および「通信教育課程個人情報保護取扱要領」にもとづき、適正に取扱います。以下はその概要です。

個人情報の収集・作成および保持・管理について

通信教育課程では、入学関係資料請求、入学手続関係書類（入学志願書・学籍簿/学生調査書・各種入学資格証明書ほか）等に関する個人情報の提出にもとづき、業務を遂行するための個人のデータが作成されています。また、それぞれの書類に記載された住所・氏名・電話番号・メールアドレス・その他の個人を特定しうる情報については、厳重な管理体制のもとで保持し、第三者が個人情報に不当に触れることがないように、適正なセキュリティ対応を行っています。

なお、これらの収集された情報の作成にあたっては、利用の目的を遂行するため、一部の個人情報については、外部の業者に委託し、業務を遂行することがあります。委託する場合は、適正に個人情報を取扱っていると認められる委託先を選定したうえで、秘密保持契約を取り交わし、適正な管理を実施しています。

利用の目的について

ご記入いただいた個人情報は以下の目的で利用いたします。

- 入学選考を行うため
- 個人が特定できない形での各種統計資料作成のため
- 本学への入学が許可された方については、授業・学生指導・学籍管理・履修・成績管理・福利厚生・事務連絡等を行うため
- その他、本学の管理運営・教育にかかわる業務において必要な事項を処理するため

誓約書(保証書)・個人情報の取り扱いに関する同意書

武蔵野美術大学 学長 殿

本人

私は、貴学への入学に際し、下記第1項の内容について誓約し、第2項について同意いたします。
記

1.在学誓約

貴学に在学中、貴学の教育方針、学則および諸規則（裏面含む）を遵守し、学生の本分に反しないことを誓約いたします。

2.個人情報の取り扱いに関する同意事項

貴学に提出する私の個人情報は、私に提供される教育研究および支援、その他大学運営の目的で収集されることを理解し、貴学が規定する「個人情報保護基本方針」に基づき、提供、管理および利用することに同意いたします。

*自署してください。

記 入 日 年 月 日

フリガナ
本人氏名

印

(〒 -)

現 住 所

T E L

()

携 帯

()

保証人

私は、上記学生（本人）が、貴学の入学に際し、下記第1項の内容について誓約し、第2項について同意いたします。
記

1.保証事項

上記学生（本人）が、その在学中、上記の誓約を守らせ、これに反する在学中の行為について、保証人である私が責任を負うと共に、上記学生（本人）が貴学に対して在学中に負担する全ての学費ならびに学内施設・備品などに損害を与えた場合の損害賠償金等一切の債務について、学則に定められた標準修業支払年限に支払うべき学費相当額を上限として、本人と連帯して支払うことを保証します。

*学費相当額 [大学] 330,000円（年間授業料相当）

[科目等履修生（一般・特修生）] 208,000円（16単位分相当）

[科目等履修生（教職・別表3.8）] 390,000円（30単位分相当）

[科目等履修生（教職生・別表4）] 320,000円

2.個人情報の取り扱いに関する同意事項

貴学に提出する私の個人情報は、私への連絡、上記学生の教育研究および支援、その他大学運営の目的で収集されることを理解し、貴学が規定する「個人情報保護基本方針」に基づき、提供、管理および利用することに同意いたします。

*自署してください。

記 入 日 年 月 日 本人との関係

フリガナ
保証人氏名

印

(〒 -)

現 住 所

T E L

()

携 帯

()

注)保証人は、保護者または独立した生計を営む成年者であり、学生本人が在学中は日本に在住できる方とします。

受付

専門学校・高等学校
証明書発行ご担当 各位

「編入学基礎資格証明書」の発行について(お願い)

本学通信教育課程では、下記の条件を満たす専修学校専門課程(以下専門学校)修了者並びに高等学校の専攻科修了者に編入学出願を認めております。

この「編入学基礎資格証明書」は、その資格を証明するための書面です。本証明書の発行依頼がありましたら、下記の条件をご確認のうえ、すべて専門学校または高等学校においてご記入ください。

なお、依頼者が下記の条件を満たす課程・専攻科を修了していない場合は編入学資格を有さない方となります。その場合は、本証明書の発行をお控えいただくと同時に、依頼者に発行できない旨をご説明ください。

《 専門学校修了による編入学について 》

依頼者が学校教育法90条に規定する大学入学資格を有し、かつ貴校が1.2.のいずれかに該当することが編入学出願の条件となります。

- 1994年6月21日文部省告示第84号の規定により専門士の称号の付与が認められた課程である。
- 専門士の称号の付与が認められた課程ではないが、以下の条件を全て満たしている課程である。
 - 「1976年1月11日以降に、専修学校専門課程の設置認可を受けている」
 - 「修業年限が2年以上である」
 - 「課程修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上である」
 - 「試験等により成績の評価を行い、その評価に基づいて課程修了の認定を行っている」

《 高等学校専攻科修了による編入学について 》

依頼者が学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有し、かつ貴校が以下に該当することが編入学出願の条件となります。

- 修業年限が2年以上、その他文部科学大臣の定める基準を満たす高等学校の専攻科の課程である。

この証明書に関してご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

武蔵野美術大学
通信教育課程
TEL 042-342-3405
cc-nyugaku@musabi.ac.jp

在職証明及び推薦書

下記の者について、2025年4月より1年間本校職員として在職することを証明し、また貴校の2025年度科目等履修生(教職生)として志願したいとの申し出があり、これを適当と認めましたので、推薦いたします。

記

フリガナ
氏 名

生 年 月 日 年 月 日

採用形態(該当するものに○印)

専任教諭 常勤講師 非常勤講師 その他()

以上

年 月 日

学 校 名

学 校 長

職 印

- 教職生へ出願する場合は、必ず提出すること。
- 勤務校の変更等の理由で出願締切日に間に合わない場合のみ、2025年4月15日まで、この書類の別送を受けける。
- 新規の方は裏面も記入すること。
- ※印のついた欄は、記入しないこと(大学記入欄)。

※ 学籍番号

氏名

可能な範囲で詳しく記入してください。

現況および連絡欄

例：学校や職場等でこれまでに受けたことのある配慮内容。体調が不安定な場合、悪くなる要因の有無、予兆や予感の有無、季節・時間帯などの傾向。スクーリング受講時の通学方法(予定)や不安要素など。

ベッドでの休養が必要となる可能性(有・無)

可能な範囲で詳しく記入してください。

希望する配慮

氏名 (本人との関係等)

(〒 -) TEL ()

住所

本人以外が記入した場合は、以下に署名・捺印・本人との関係・資格(医師など)を記入してください。

記載者氏名	(印)	本人との関係・資格
-------	-----	-----------

注意事項

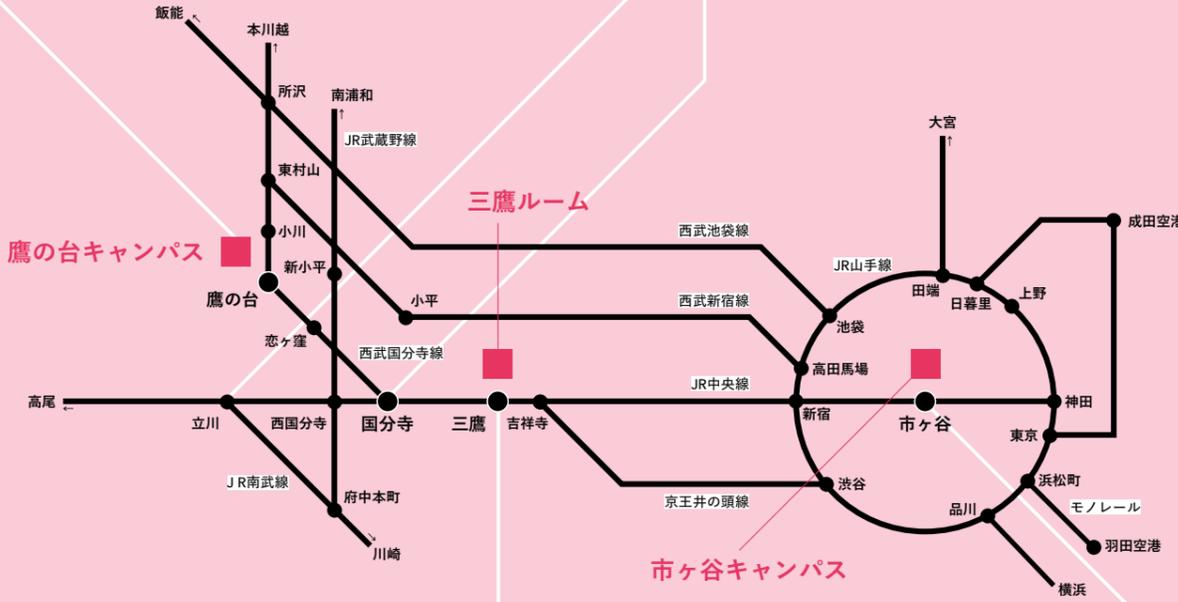
- スクーリング受講時の緊急連絡先は、連絡が必要な場合に来校可能な方を記入してください。
- 記入された住所・氏名・身体状況等の個人情報は、「学校法人武蔵野美術大学個人情報保護規則」並びに「通信教育課程個人情報保護取扱要領」に則り、通信授業・面接授業およびメディア授業を円滑に運営するために使用します。また、入学後の配慮等は大学から相談させていただく場合の資料および入学後の修学に関する資料として使用します。個人情報がその他の目的に使用されることは一切ありません。
- 可能な限り配慮を行います。が、障害の状態により、ご希望にそえない場合もあります。

武蔵野美術大学 造形学部通信教育課程



鷹の台キャンパス
東京都小平市小川町 1-736

- 西武国分寺線「鷹の台」駅下車、徒歩 18分
- JR中央線「国分寺」駅北口より西武バス「武蔵野美術大学」行または「小平営業所」行乗車、「武蔵野美術大学正門」下車
- JR中央線「立川」駅北口より立川バス「武蔵野美術大学」行



三鷹ルーム
東京都武蔵野市中町 1-19-3
武蔵野 YSビル 6F

- JR中央線「三鷹」駅北口より徒歩約 4分



市ヶ谷キャンパス
東京都新宿区市谷田町 1-4

- JR中央・総武線「市ヶ谷」駅、東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷」駅、都営新宿線「市ヶ谷」駅より徒歩 3分

